Panasonic

保管用

取扱説明書

自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機

業務用エコキュート 小容量タイプ

品番：XDEC251N□□　XDEC251C□□　XDEC252N□□
XDEC252C□□　XDEC253N□□　XDEC253C□□

標準タイプ（一般地用）
標準タイプ（寒冷地用）
即湯タイプ（一般地用）
即湯タイプ（寒冷地用）
ハイブリッドタイプ（一般地用）
ハイブリッドタイプ（寒冷地用）

ヒートポンプユニット

メイン貯湯
タンクユニット

サブ貯湯
タンクユニット

■ このたびは、業務用エコキュートをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
■ 取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
■ この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」（4～5ページ）は、必ずお読みいただき、
安全にお使いください。
■ この取扱説明書は大切に保管してください。
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書
とともに大切に保管してください。

知っておいていただきたいこと

湯量について

●給水温度などの条件により、使用できる湯量は異なります。
●貯湯式給湯機のため、一度に貯湯量以上の多量の湯を使用すると、湯切れします。また、沸き上がるまで時間がかかります。（ヒートポンプユニット 1 台あたりの沸き上げ量約 50 リットル / 時間※中間期、90℃沸上時）

昼間の沸き上げ運転について

●湯量が少なくなると、昼間もヒートポンプユニットの運転を行います。昼間にヒートポンプユニットの運転を中止する場合は、リモコンで設定が必要です。
(→27 ページ)

高温給湯温度について

●高温給湯温度は、タンクや配管の放熱ロスにより、ヒートポンプの高温沸上温度の設定値よりも低くなります。また、長時間ご使用にならなかった場合や大量にお湯を使った場合など、お湯のご使用状況により、さらに給湯温度が低くなることがあります。

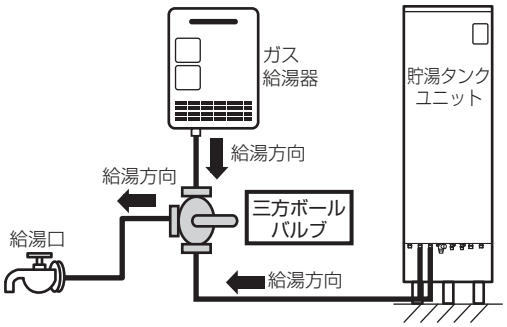
混合給湯温度について

●混合給湯温度は、タンクや配管の放熱ロスにより、混合給湯温度の設定値よりも低くなります。また、長時間ご使用にならなかった場合や大量にお湯を使った場合など、お湯のご使用状況により、さらに給湯温度が低くなることがあります。

給湯器を切り替える場合

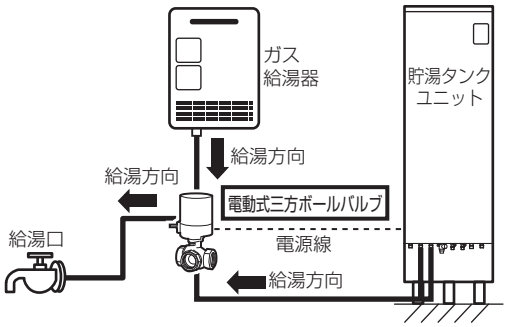
標準タイプ／即湯タイプの場合

●ガス給湯器などと併用している場合で給湯器を切り替える際は、いったん、湯の利用を中止し、三方ボールバルブなどを切り替えてから、湯の利用を再開してください。ガス給湯器などからの給湯により、貯湯タンクユニットからの給湯が妨げられるおそれがあります。



ハイブリッドタイプの場合

●エコキュートと他機器の給湯切替時に流量、湯温が大きく変動するおそれがあります。流量については流量調整弁などで調整することをおすすめします。また特に、シャワーなど直接肌に触れる用途に使われる場合には、エコキュートと他機器の給湯切替を自動で行うか、手動で行うか、あらかじめご検討ください。(→31 ページ)
●他機器からの給湯の温度設定などは、他機器のリモコンなどで適切に調節してください。
●湯の使われ方によって、ガス給湯器の使用頻度が高くなる可能性があります。



電動式三方ボールバルブ同梱の説明書に従って施工してください。

加熱能力について

●外気温やヒートポンプの沸上設定温度によっては、加熱能力が低下することがあります。

配管が凍結したとき

●周囲温度が使用温度範囲（一般地用は−10℃、寒冷地用はヒートポンプユニット−25℃、貯湯タンクユニット−20℃）を下回ると、貯湯タンクユニットやヒートポンプユニット内の配管が凍結するおそれがあります。 配管が凍結すると、湯が出なくなったり、沸き上げができなくなります。配管が凍結した時は、解凍後に水漏れや配管の破裂がないことを確認してから、使用を再開してください。

長時間、湯を使用しないとき

●タンク内の湯は放熱により少しずつ冷めます。長時間にわたり、湯を使用しない場合、温度が低くなったり、湯量が少なくなります。

点検とメンテナンスについて

●長くご使用いただくために、取扱説明書にもとづいた点検とメンテナンスを実施いただくようお願いいたします。
(→47 ページ)

設計耐用年数について

●業務用エコキュートの設計耐用年数は約6年です。（一日あたりのヒートポンプユニット稼動時間が 15 時間の場合。）
●耐用年数中に交換が必要な部品があります。

CONTENTS

も　く　じ

はじめに
知っておいていただきたいこと …… 2
安全上のご注意 …… 4
製品構成と各部のなまえ …… 8

リモコンの使い方
リモコンの使い方 …… 11

運転設定モード
運転設定の手順 …… 12
運転設定 …… 13
1.時刻合わせ（現在日時設定） …… 14
2.運転モードの種類 …… 16
3.操作音有無の設定 …… 18
4.表示明るさの設定 …… 19
5.高温沸上温度の設定 …… 20
6.定休日の設定 …… 21
7.運転時刻の設定 …… 22
8.夜間電力時間の設定 …… 24
9.深夜電力時間の設定 …… 25
10.沸上開始湯量の設定 …… 26
11.沸上停止湯量の設定 …… 27
12.高温給湯優先の設定 ＊ …… 28
13.即湯開始温度の設定 ＊ …… 29
14.強制切替時刻の設定 ＊＊ …… 30
15.ハイブリッド制御の設定 ＊＊ …… 31
16.エラーリセット …… 32
17.ヒートポンプ配管エアー抜き …… 33
18.即湯管エアー抜き ＊ …… 34
19.メーカ電話番号登録 …… 35

満タンモードの設定/強制沸上モードの設定
満タンモードの設定/強制沸上モードの設定 …… 36

ナビモード
ナビ確認モード …… 37

このようなときは
しばらく湯を使用しないとき …… 40
使用再開（長時間休止後使用する時） …… 42
冬期の凍結予防について …… 45
停電したときや断水・水道工事が行われるとき …… 46
お手入れと日常点検 …… 47
点検リスト …… 48
定期点検 …… 49
定期点検リスト …… 52
故障かなと思ったら …… 54
仕様 …… 56

＊即湯タイプのみ使用できます。
＊＊ハイブリッドタイプのみ使用できます。

安全上のご注意 必ずお守りください

○人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

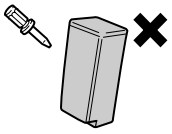
してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

使用時のご注意

⚠警告

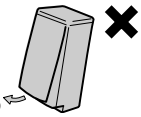
分解禁止

●自分で修理・改造や再設置は行わない
火災・感電・水漏れの原因となります。

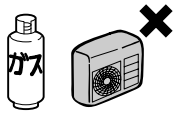


禁止

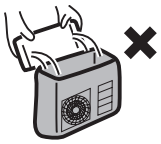
●貯湯タンクユニットの前扉は開けない
やけどや感電の原因となります。



●貯湯タンクユニットやヒートポンプユニットの近くに可燃性ガスや引火物を置かない
発火や火災の原因となります。



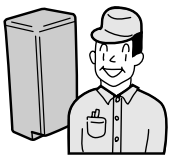
●指定個所以外は取り外さない
高温部によるやけどや感電の原因となります。



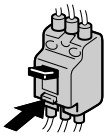
●ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの上に乗ったり、ゆすったり、配管に力を加えない
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけどなど）に至るおそれがあります。特に幼児に注意してください。

必ず守る

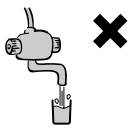
●移設時・修理の場合は販売店または工事店に依頼する
火災・感電・水漏れの原因となります。



●分電盤内のブレーカが漏電を検知して作動した場合は、電源を再投入しない
感電するおそれがあります。
（取扱店または工事店に点検を依頼してください。）



●飲食用にする場合は必ず沸騰させる
飲食用にされる場合は、下記の点に注意し、必ず一度沸騰させてからご使用ください。
・必ず水道法に定められた水道水の水質基準に適合した水を使用ください。
・熱い湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水として使用ください。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲食用に使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

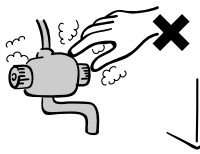


長期間のご使用によって貯湯タンクユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わっている事があります。取扱説明書の定期点検「メインタンク・サブタンク内の清掃」の項に従って、年に２～３回清掃をしてください。

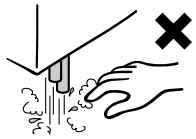
⚠注意

禁止

●**高温給湯時は給湯栓本体に手を触れない**
やけどをするおそれがあります。

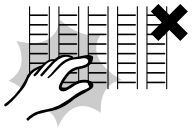


●**貯湯タンクユニット下部のヒートポンプユニット循環配管接続口（復側）には手を触れない**
やけどをするおそれがあります。

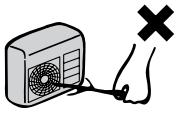


●**長期不使用などで、貯湯タンクユニットからの排水をする場合、その時の湯に手を触れない**
やけどをするおそれがあります。

●**逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない**
やけどをするおそれがあります。

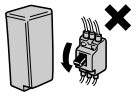


●**ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンには触らない**
フィンでけがをするおそれがあります。



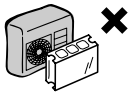
●**ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない**
内部でファンが回転していますので、けがをするおそれがあります。

●**凍結しそうな気温の場合は、電源を「OFF」にしない**
機器や配管が破裂し、水漏れの原因となります。
自動的にヒートポンプユニット循環配管の凍結を予防しています。



※電力契約によって電源が切れている時間に、周囲温度が 0℃以下になるおそれがある地域では、深夜専用モードは使用できません。（→ 45 ページ「冬期の凍結予防について」参照）

●**ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない**
通風が妨げられると性能低下や故障の原因となります。



●**リモコンに水をかけない**
防水タイプではないため、故障の原因となります。

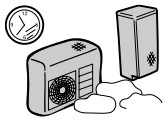
●**ヒートポンプユニットの循環配管のバルブを閉じた状態で、ヒートポンプユニットを運転させない**
バルブを閉じた状態で運転させると、機器が破損したり、配管が破裂し、水漏れの原因となります。

●**絶縁抵抗計（メガー）を使用しない**
極間に電子部品が接続されており、製品が破損する原因となります。

必ず守る

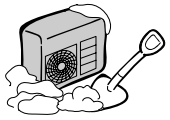
●**逃し弁の点検をする**
点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりするおそれがあります。（→ 47 ページ「お手入れと日常点検」参照）

●**長期間使用しない場合で凍結するおそれのある場合は、水抜きを確実に行なう**
機器や配管が破裂し、水漏れの原因となります。



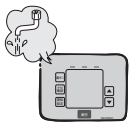
●**積雪時には除雪する**
ヒートポンプユニット、防雪部材や貯湯タンクユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因となります。

●**給湯温度を変更するときは、他の給湯栓の使用状況を確認する**
やけどをするおそれがあります。

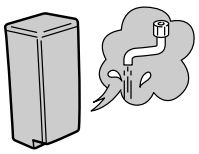


●**１か月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をする**
排水をしないと、水質が劣化することがあります。

●**人が湯に直接触れる場合は、高温給湯、混合給湯によらず、サーモスタット付混合栓（逆止弁付）を使用する**
やけどをするおそれがあります。



●**水道水のみを使用する（井戸水は使用不可）**
故障や水漏れの原因となります。



組み合わせ品番

組み合わせ品名	組み合わせ品番	構成品番	品　　名	数量
ヒートポンプユニット1台 貯湯タンクユニット1台タイプ	XDEC251N11　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C11　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N11　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C11　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N11　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C11　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	1
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECR005	リモコン	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV001K1	バルブセット　1台用	1
		DECK001K*2	ヒートポンプユニット用架台　1台用	1
ヒートポンプユニット2台 貯湯タンクユニット1台タイプ	XDEC251N21　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C21　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N21　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C21　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N21　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C21　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	2
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECR005	リモコン	1
		DECH002	ヘッダーボックス　2台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	1(2)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV002K1	バルブセット　2台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	1
ヒートポンプユニット2台 貯湯タンクユニット2台タイプ	XDEC251N22　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C22　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N22　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C22　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N22　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C22　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	2
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECB42S1K	サブ貯湯タンクユニット	1
		DECR005	リモコン	1
		DECH002	ヘッダーボックス　2台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	2(3)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV002K1	バルブセット　2台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	1
ヒートポンプユニット2台 貯湯タンクユニット3台タイプ	XDEC251N23　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C23　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N23　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C23　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N23　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C23　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	2
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECB42S1K	サブ貯湯タンクユニット	2
		DECR005	リモコン	1
		DECH002	ヘッダーボックス　2台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	3(4)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV002K1	バルブセット　2台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	1
ヒートポンプユニット3台 貯湯タンクユニット1台タイプ	XDEC251N31　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C31　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N31　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C31　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N31　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C31　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	3
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECR005	リモコン	1
		DECH003	ヘッダーボックス　3台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	2(4)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV003K1	バルブセット　3台用	1
		DECK001K*2	ヒートポンプユニット用架台　1台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	1
ヒートポンプユニット3台 貯湯タンクユニット2台タイプ	XDEC251N32　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C32　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N32　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C32　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N32　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C32　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	3
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECB42S1K	サブ貯湯タンクユニット	1
		DECR005	リモコン	1
		DECH003	ヘッダーボックス　3台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	3(5)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV003K1	バルブセット　3台用	1
		DECK001K*2	ヒートポンプユニット用架台　1台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	1

*1　組み合わせ品番のタイプに合わせてヒートポンプユニットとメイン貯湯タンクユニットの品番を選択してください。
例）XDEC251N11標準タイプ（一般地用）の場合
・ヒートポンプユニット品番：DECP452NK（一般地用）、メイン貯湯タンクユニットの品番：DECB42E51N標準タイプ（一般地用）となります。

*2　積雪地域で、ヒートポンプユニット用架台1台用（積雪地用）（品番：DECK003）や壁掛用防雪部材（品番：DAG7901）を使用する場合は、
ヒートポンプユニット用架台は必要ありません。
ヒートポンプユニット用架台1台用（積雪地用）や壁掛用防雪部材は、ヒートポンプユニットの台数分用意してください。
配管サポート2本支持用（品番：DECS102）は（　）内の数量が必要になります。

組み合わせ品番

組み合わせ品名	組み合わせ品番	構成品番	品　　名	数量
ヒートポンプユニット3台 貯湯タンクユニット3台タイプ	XDEC251N33　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C33　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N33　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C33　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N33　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C33　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	3
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECB42S1K	サブ貯湯タンクユニット	2
		DECR005	リモコン	1
		DECH003	ヘッダーボックス　3台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	4(6)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV003K1	バルブセット　3台用	1
		DECK001K*2	ヒートポンプユニット用架台　1台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	1
ヒートポンプユニット3台 貯湯タンクユニット4台タイプ	XDEC251N34　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C34　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N34　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C34　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N34　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C34　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	3
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECB42S1K	サブ貯湯タンクユニット	3
		DECR005	リモコン	1
		DECH003	ヘッダーボックス　3台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	5(7)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV003K1	バルブセット　3台用	1
		DECK001K*2	ヒートポンプユニット用架台　1台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	1
ヒートポンプユニット4台 貯湯タンクユニット1台タイプ	XDEC251N41　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C41　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N41　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C41　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N41　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C41　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	4
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECR005	リモコン	1
		DECH004	ヘッダーボックス　4台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	3(7)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV004K1	バルブセット　4台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	2
ヒートポンプユニット4台 貯湯タンクユニット2台タイプ	XDEC251N42　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C42　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N42　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C42　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N42　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C42　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	4
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECB42S1K	サブ貯湯タンクユニット	1
		DECR005	リモコン	1
		DECH004	ヘッダーボックス　4台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	4(8)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV004K1	バルブセット　4台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	2
ヒートポンプユニット4台 貯湯タンクユニット3台タイプ	XDEC251N43　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C43　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N43　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C43　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N43　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C43　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	4
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECB42S1K	サブ貯湯タンクユニット	2
		DECR005	リモコン	1
		DECH004	ヘッダーボックス　4台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	5(9)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV004K1	バルブセット　4台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	2
ヒートポンプユニット4台 貯湯タンクユニット4台タイプ	XDEC251N44　標準タイプ　（一般地用）*1 XDEC251C44　標準タイプ　（寒冷地用） XDEC252N44　即湯タイプ　（一般地用） XDEC252C44　即湯タイプ　（寒冷地用） XDEC253N44　ハイブリッドタイプ（一般地用） XDEC253C44　ハイブリッドタイプ（寒冷地用）	DECP452NK　（一般地用）*1 DECP452CK　（寒冷地用）	ヒートポンプユニット	4
		DECB42E51N　標準タイプ　（一般地用）*1 DECB42E51C　標準タイプ　（寒冷地用） DECB42E52N　即湯タイプ　（一般地用） DECB42E52C　即湯タイプ　（寒冷地用） DECB42E53N　ハイブリッドタイプ　（一般地用） DECB42E53C　ハイブリッドタイプ　（寒冷地用）	メイン貯湯タンクユニット	1
		DECB42S1K	サブ貯湯タンクユニット	3
		DECR005	リモコン	1
		DECH004	ヘッダーボックス　4台用	1
		DECS102	配管サポート　2本支持用	6(10)*2
		DECS104	配管サポート　4本支持用	2
		DECV004K1	バルブセット　4台用	1
		DECK002K*2	ヒートポンプユニット用架台　2台用	2

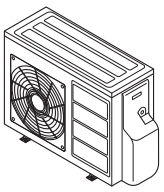
*1　組み合わせ品番のタイプに合わせてヒートポンプユニットとメイン貯湯タンクユニットの品番を選択してください。
例）XDEC251N11標準タイプ（一般地用）の場合
・ヒートポンプユニット品番：DECP452NK（一般地用）、メイン貯湯タンクユニットの品番：DECB42E51N標準タイプ（一般地用）となります。

*2　積雪地域で、ヒートポンプユニット用架台1台用（積雪地用）（品番：DECK003）や壁掛用防雪部材（品番：DAG7901）を使用する場合は、
ヒートポンプユニット用架台は必要ありません。
ヒートポンプユニット用架台1台用（積雪地用）や壁掛用防雪部材は、ヒートポンプユニットの台数分用意してください。
配管サポート2本支持用（品番：DECS102）は（　）内の数量が必要になります。

製品構成と各部のなまえ

製品構成

ヒートポンプユニット
DECP452NK(一般地用)
DECP452CK(寒冷地用)



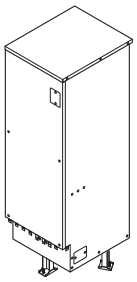
貯湯タンクユニット

メインタンク

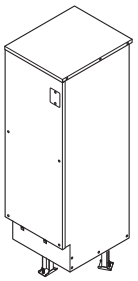
標準タイプ(一般地用)DECB42E51N
標準タイプ(寒冷地用)DECB42E51C

即湯タイプ(一般地用)DECB42E52N
即湯タイプ(寒冷地用)DECB42E52C

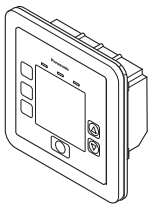
ハイブリッドタイプ(一般地用)DECB42E53N
ハイブリッドタイプ(寒冷地用)DECB42E53C



サブタンク
DECB42S1K



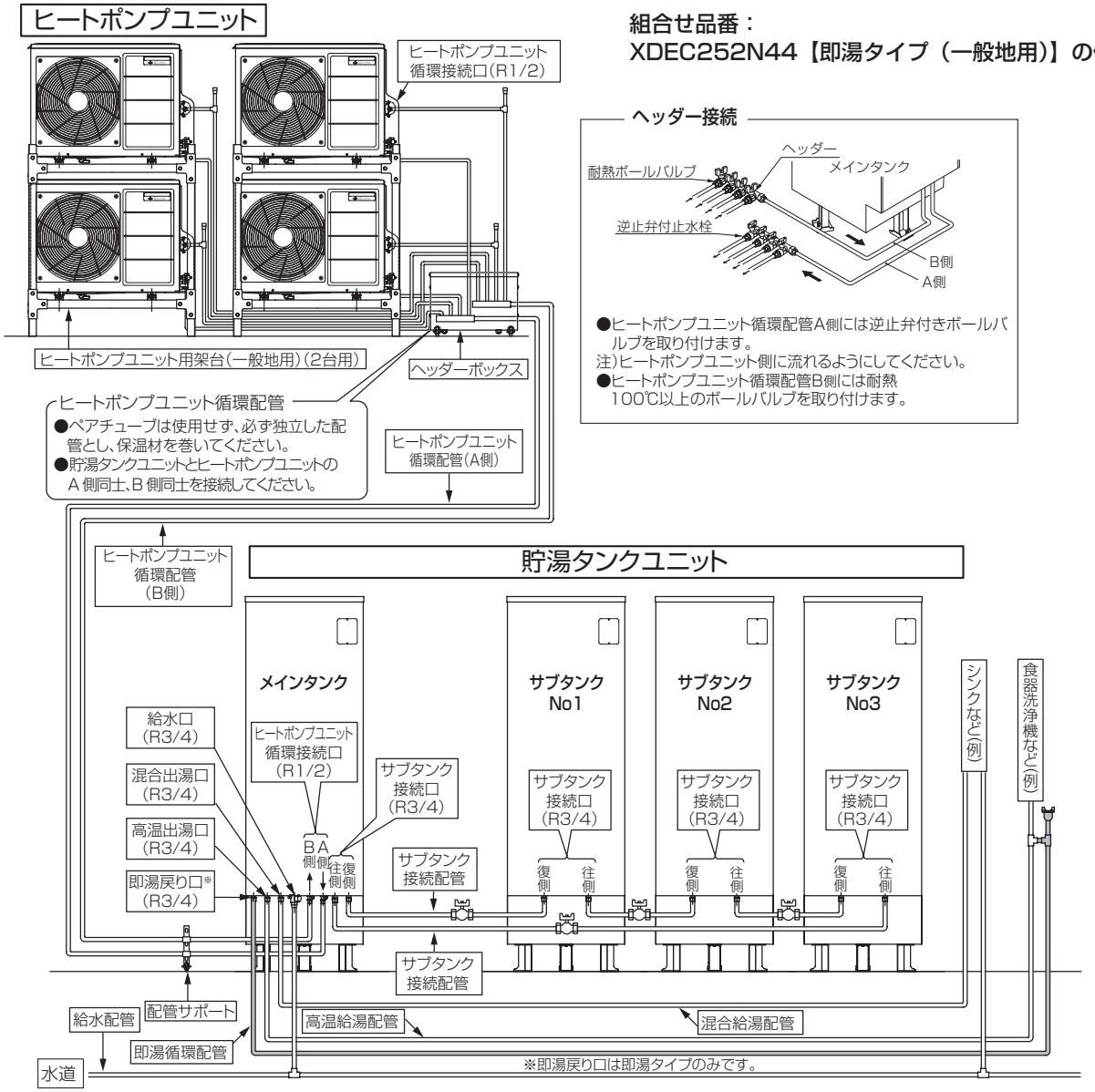
リモコン
DECR005



※組み合わせ品番によっては入ってないものや複数台あるものもあります。

システム全体の配管概要

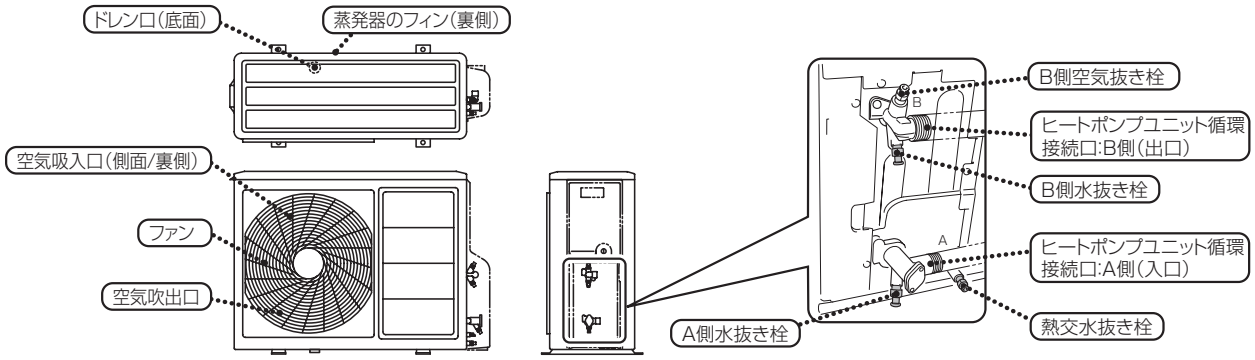
組合せ品番：
XDEC252N44【即湯タイプ（一般地用)】の例



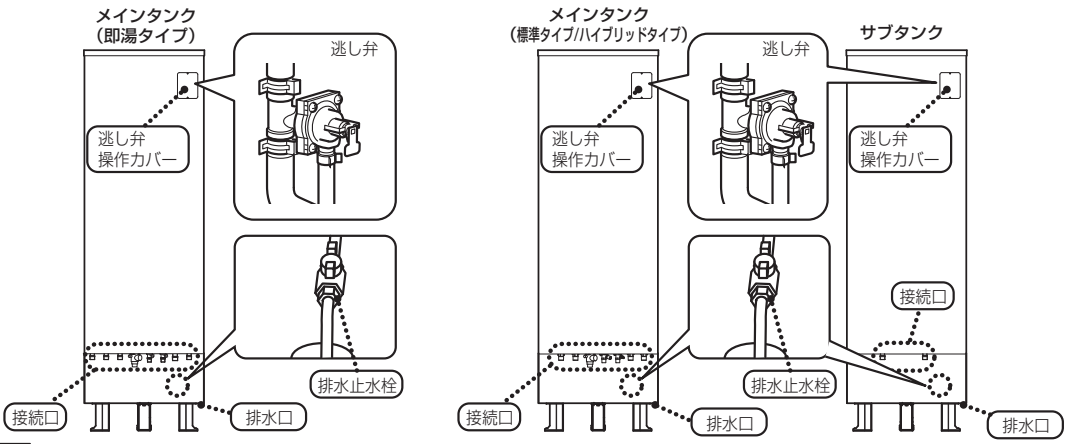
ヘッダー接続

●ヒートポンプユニット循環配管A側には逆止弁付きボールバルブを取り付けます。
注)ヒートポンプユニット側に流れるようにしてください。
●ヒートポンプユニット循環配管B側には耐熱100℃以上のボールバルブを取り付けます。

ヒートポンプユニット

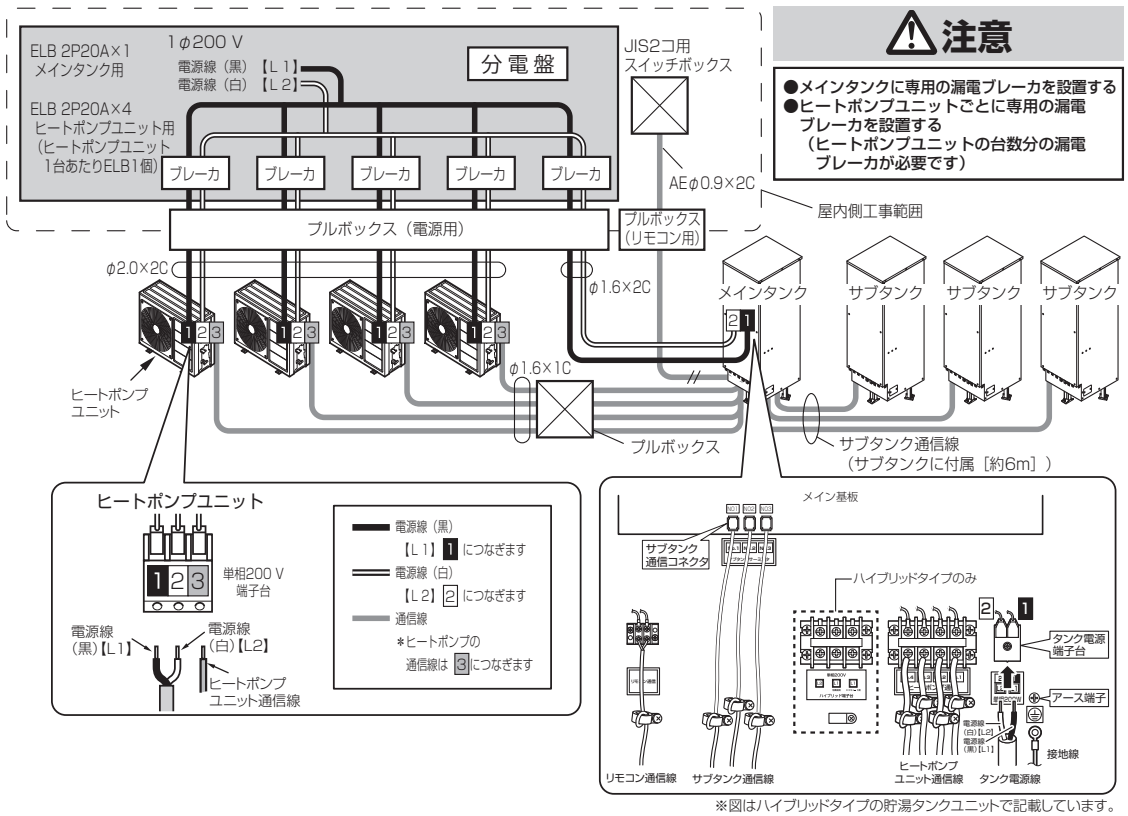


貯湯タンクユニット



配線図

●メインタンク、ヒートポンプユニットの全ての電源は、分電盤の同じ相から取り、1に【L1】、2に【L2】のように、端子台の同一番号には同一の相を接続してください。相が合っていないと、通信異常<異常コード：D162（施工説明書のアラームとエラー一覧表の項参照）など>が発生いたします。



⚠注意

●メインタンクに専用の漏電ブレーカを設置する
●ヒートポンプユニットごとに専用の漏電ブレーカを設置する（ヒートポンプユニットの台数分の漏電ブレーカが必要です）

※図はハイブリッドタイプの貯湯タンクユニットで記載しています。

リモコン液晶表示の見方

● リモコンには、各種画面があります。
①通常画面（下図参照）
②各種表示設定の画面（ナビ確認モード、運転設定など）
③消灯

リモコン画面

運転モード表示
現在の運転モードが表示されます。
（→16ページ）

貯湯量表示
貯湯タンクユニット内の貯湯量を表示します。
（→10ページ）

沸上温度表示
ヒートポンプユニットが沸き上げる温度を表示します。
「高温沸上温度の設定」で変更します。（→20ページ）

メッセージ表示
・カレンダー時刻　（→14ページ）
・時間未設定　（→14ページ）
・残り湯少
・故障　（→54ページ）
・除霜運転中　（→54ページ）
・凍結防止運転中　（→54ページ）

異常番号表示
異常がある時、故障状態を番号で表示します。
（→54ページ）

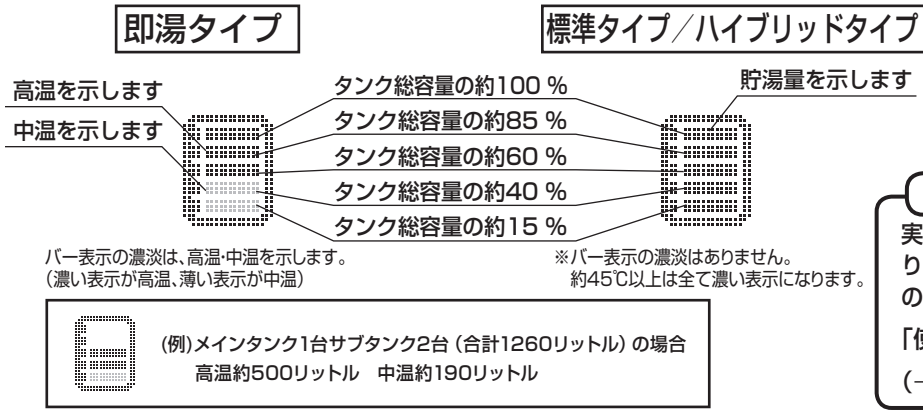
ハイブリッド状態表示
給湯器の切替状態を表示します。
「ハイブリッド運転設定」で変更します。（→31ページ）
※ハイブリッドタイプのみ表示されます。

混合給湯温度表示
混合給湯温度を表示します。

お願い
●リモコンに水をかけないでください。
防水タイプではありませんので、故障の原因となります。

貯湯量表示について

●リモコンの貯湯量表示は次のようになっています。
（貯湯量とは約 45 ℃以上の湯の量です）
中温とは約 45 ℃以上のことです。高温とは約 75 ℃以上のことです。



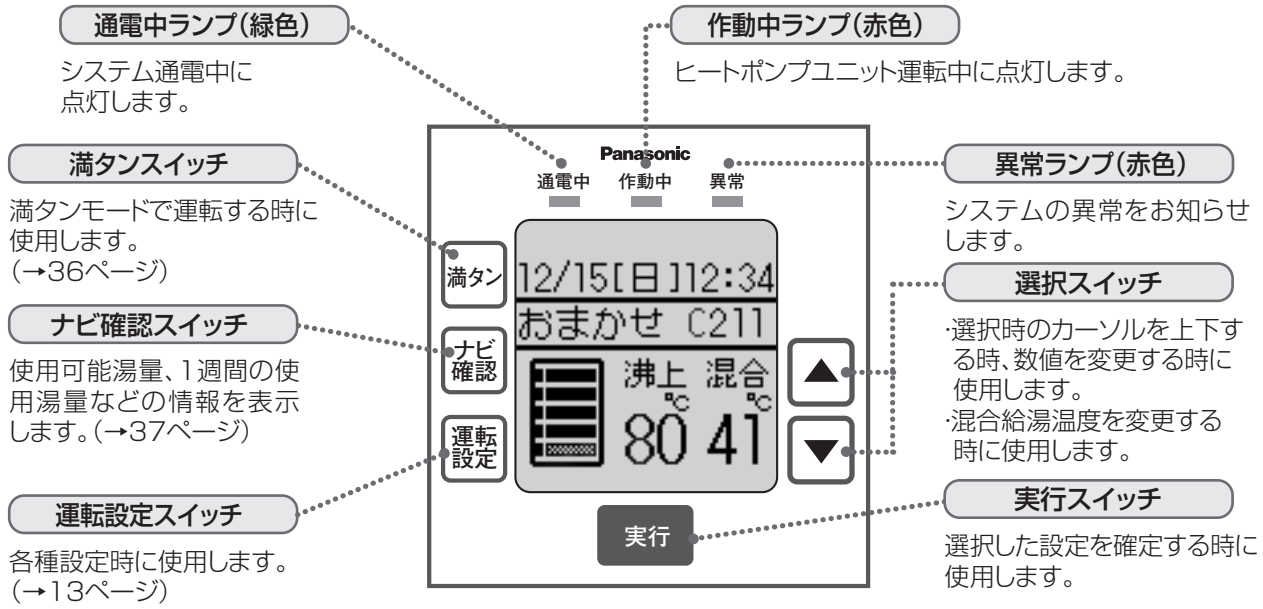
ご注意
実際の湯量と比べると多少誤差があります。より詳しい残量はリモコンのナビ確認モードでご確認ください。
「使用可能湯量表示」
（→ 38 ページ）

●貯湯量が約 75 リットルを下回った時「残り湯少」がリモコンに表示され、ブザーでお知らせします。（→ 11 ページ）この時は、湯のご利用を控えてください。
また、ガス給湯器などと併用している場合で、手動で給湯器を切り替える際は、いったん、湯の利用を中止し、三方ボールバルブなどを切り替えてから、湯の利用を再開してください（→ 2 ページ）

リモコンの使い方

リモコン

● 表示部は説明のため表示を全点灯状態にしています。



混合給湯温度設定

通常画面を表示している時

▲ **を押すと、混合給湯温度が上がります。**

▼ **を押すと、混合給湯温度が下がります。**

湯温は 35 ～ 50 ℃（1 度刻み）、55 ℃、60 ℃、65 ℃、70 ℃、75 ℃の範囲で変更できます。

ご注意

- **混合給湯中に高温給湯を開始、中止したり、ヒートポンプユニットが作動すると、実際の混合給湯の湯温が変動することがあります。**
- **配管の放熱ロスにより、給湯温度が設定温度より低くなることがあります。**
- **混合給湯温度は、タンクや配管の放熱ロスにより、混合給湯温度の設定値よりも低くなります。また、長時間ご使用にならなかった場合や大量にお湯を使った場合など、お湯のご使用状況により、さらに給湯温度が低くなることがあります。**

ブザー音の種類と止め方

● ブザーは下表の時に鳴ります。

名　称	条　件	鳴り方	止め方
スイッチ操作	スイッチを押した時 (“操作音設定”が「ON」の時)	受付け時：ピッ 拒否時　：ピピッ	“操作音設定”を「OFF」にする (→18ページ)
湯切れ警告	貯湯量が約20リットルを切った時	ピーピーピーピーピーを5回	どれかスイッチを押すと鳴りやみます
アラーム・エラー警告	アラーム·エラーが出た時	ピーピーを繰り返す	どれかスイッチを押すと鳴りやみます
電源投入	電源投入時	ピー	———
現在時刻未設定	現在時刻が未設定の時	ピピッを3回	どれかスイッチを押すと鳴りやみます
ハイブリッド切替中	ハイブリッド弁切替時	ピピッを3回	どれかスイッチを押すと鳴りやみます

運転設定の手順

●エコキュートの運転に必要な設定値を入力します。

運転モードによって設定する項目が異なります。
使用状況に合わせた運転設定や、メンテナンス時の設定を行います。

●運転設定の手順 ❶ ❷ ❸ ❹ の順に設定してください。

設定の流れと目次

	運転設定	メニュー ※詳細は13ページの表をご覧ください。
設定する	❶ 日時を設定する	1. 現在日時設定
	❷ 強制切替時刻を設定する(ハイブリッドタイプのみ)※※	14.強制切替時刻設定
	❸ 運転モードを決定する	2. 運転モード設定
	❹ 運転内容の詳細を設定する（運転モードにより表示内容が変わります）	
	すべての運転モードで設定してください	3. 操作音有無 4. 表示明るさ 5. 高温沸上温度 6. 定休日設定 7. 運転時刻設定
	夜間おまかせ/夜間電力マニュアルモードは設定してください。	8. 夜間電力時間設定
	深夜専用モードは設定してください。	9. 深夜電力時間設定
	マニュアル/夜間電力マニュアルモードは設定してください。	10. 沸上開始湯量
	夜間電力おまかせ/夜間電力マニュアルモードは設定してください。	11. 沸上停止湯量
	すべての運転モードで設定してください	12. 高温給湯優先
	即湯タイプの場合※	13. 即湯開始温度
	ハイブリッドタイプの場合※※	15.ハイブリッド選択
	すべての運転モードで設定してください	19. メーカ電話登録
メンテナンス時	すべての運転モードで定期のメンテナンスなどにご使用ください。	16.エラーリセット 17.HP配管エアー抜き
	即湯タイプで即湯を使用される場合※	18.即湯管エアー抜き

※「高温給湯優先」、「即湯開始温度」、「即湯管エアー抜き」は
標準タイプ、ハイブリッドタイプでは使用できません。(画面に表示されません)

※※「強制切替時刻設定」、「ハイブリッド選択」は、標準タイプ、即湯タイプでは
使用できません。(画面に表示されません)

運転設定

O 運転モードや故障時の連絡先の電話番号登録や操作音の有無、表示の明るさなどの設定ができます。

運転設定モードの種類

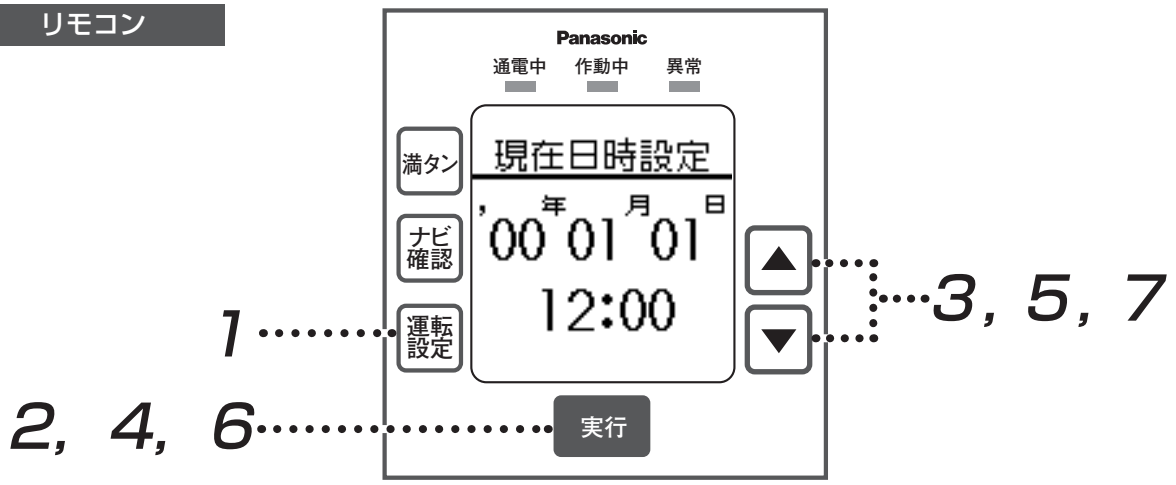
No	表　示	内　容	初期の設定	設定できる範囲	参照ページ
1	現在日時設定	年月日と現在時刻を設定します。	-	2099年まで	14
2	運転モード選択	運転の種類、運転停止を設定します。	休止	おまかせ･マニュアル･夜間電力おまかせ･夜間電力マニュアル･休止※1（蓄熱調整･深夜専用･休止※1）	16
3	操作音有無	リモコンの操作音の有無を設定します。	ON	ON・OFF	18
4	表示明るさ	リモコン表示部の輝度を設定します。	操作時:ふつう 放置時:暗い	明るい･ふつう･暗い（操作時･放置時）	19
5	高温沸上温度	ヒートポンプユニットの高温沸上温度を設定します。	80 ℃	65、70、75、80、85、90 ℃	20
6	定休日設定	店舗の定休日を曜日ごとに設定します。	全て営業日	営業日･定休日（日～土曜日）	21
7	運転時刻設定	24時間営業、営業時間ありの設定をします。営業時間ありの場合、ご使用の開始、終了時刻を設定します。	24 時間運転	YES（24時間運転）NO（開始･終了時刻）	22
8	夜間電力時間設定※1	夜間電力おまかせモード、夜間電力マニュアルモード、夜間電力時間を設定します。	-	23:00～ 7 :00 22:00～ 8 :00 23:00～ 8 :00	24
9	深夜電力時間設定※1	深夜専用モードの深夜電力時間を設定します。	-	開始 20:00～3:00 終了 4:00～10:00	25
10	沸上開始湯量	マニュアル･モードや夜間電力マニュアルモードの昼間時間に、ヒートポンプユニットが運転開始するタンク内の湯量条件を設定します。	タンク台数や運転モードなどにより設定値が異なります。（→26ページ）	タンクの種類や運転モードにより設定値が異なります。（→26ページ）	26
11	沸上停止湯量※1	夜間電力おまかせモードや夜間電力マニュアルモードで、昼間時間にヒートポンプユニットが運転停止するタンク内の湯量条件を設定します。	運転モードにより設定値が異なります。（→27ページ）	運転モードにより設定値が異なります。（→27ページ）	27
12	高温給湯優先※1	残湯量が少なくなった時に、高温給湯を優先します。	しない	する･しない	28
13	即湯開始温度※1	即湯運転を開始する温度を設定します。	0 ℃（即湯しない）	0 ℃、55～80 ℃（1℃ 刻み）	29
14	強制切替時刻設定※1	他機器への強制切替時刻を設定します。	12:00	0:00～23:59	30
15	ハイブリッド選択※1	給湯機の切替条件を設定します。	自動切替	自動切替、他機器固定、エコキュート固定	31
16	エラーリセット	現在発生中のアラーム･エラーをクリアします。	-	-	32
17	HP配管エアー抜き	HP循環配管内にあるエアーを抜きます。	-	-	33
18	即湯管エアー抜き※1	即湯循環配管内にあるエアーを抜きます。	-	-	34
19	メーカ電話登録	故障時の連絡先(サービス店) の電話番号を登録します。	0120-081-240	"0" ～ " 9"、"＿"、ー、" "（空白）	35

※ 1 メインタンクの設定により、表示されない場合や表示項目が異なる場合があります。

1. 時刻合わせ（現在日時設定）

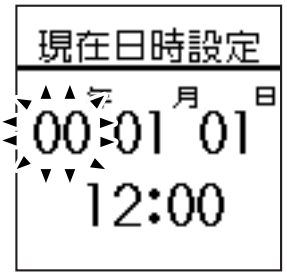
○ 現在の年月日、時刻の設定をします。

リモコン



1. 運転設定 を押します。

2. 「現在日時設定」を選択し、実行 を押します。



3. ▲ ▼ を押し、点滅している「年」を合わせます。

- ▲ を押すと 1 年ずつ進みます。
- ▼ を押すと 1 年ずつ戻ります。

ワンポイント

- 「年」は西暦の下２ケタです。2099年まで設定できます。
- ▲ ▼ の１秒以上の長押しで、数値の変更ができます。

4. 実行 を押して「年」を決定します。

「年」は点灯し、「月」は点滅します。

5. ▲ ▼ を押し、点滅している「月」を合わせます。

- ▲ を押すと 1 か月ずつ進みます。
- ▼ を押すと 1 か月ずつ戻ります。

6. 実行 を押して「月」を決定します。

「月」は点灯し、「日」は点滅します。

7. ▲ ▼ を押し、点滅している「日」を合わせます。

- ▲ を押すと 1 日ずつ進みます。
- ▼ を押すと 1 日ずつ戻ります。

リモコン

8. 実行 **を押して「日」を決定します。**

「日」は点灯し、「時」は点滅します。

9. ▲ ▼ **を押し、点滅している「時」を合わせます。**

- ▲ を押すと 1 時間ずつ進みます。
- ▼ を押すと 1 時間ずつ戻ります。

10. 実行 **を押して「時」を決定します。**

「時」は点灯し、「分」は点滅します。

11. ▲ ▼ **を押し、点滅している「分」を合わせます。**

- ▲ を押すと 1 分ずつ進みます。
- ▼ を押すと 1 分ずつ戻ります。

12. 実行 **を押して「分」を決定します。**

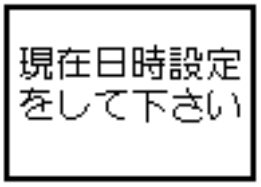
全て点灯し、設定が完了します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

13. 運転設定 **を押します。**

通常画面に切り替わります。

ご注意

- **現在日時が未設定の時は、設定を完了するまで「通常画面」に切り替えることはできません。**
- **時刻は、ずれることがありますので、半年に 1 回程度、確認を行い時刻の修正をしてください。**
- **初めてご使用時など、時刻未設定の場合、「現在日時設定をして下さい」と表示されますので、現在日時を設定してください。**

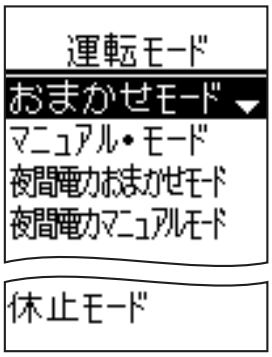


2. 運転モードの種類

○リモコン表示は、施工時のディップスイッチの設定（施工説明書の試運転の項参照）によって標準運転モード（4 種類）と電力契約別運転モード（2 種類）のどちらかになっています。上手に湯を使っていただくためにも、使用状況に合わせた適切なモードで使用されることをお勧めします。

標準
運転モード

運転モードを選択した画面



電力契約別
運転モード

運転モードを選択した画面

名称	特徴	名称	特徴
①おまかせ※1	過去 1 週間の使用湯量から、最適な運転を行います。（一般的なご使用の時）	⑤蓄熱調整※1	東京電力㈱の蓄熱調整契約に適合するモード。22:00～8:00の夜間時間に満タンまで沸き上げます。昼間時間は貯湯タンクの湯が 250 L以下になると沸き上げ、420 Lになると運転を停止します。
②マニュアル※1	設定いただく沸上開始湯量（→26ページ）より湯が減ると、満タンまで沸き上げます。		
③夜間電力おまかせ※1	設定いただく夜間時間に満タンまで沸き上げます。昼間時間は、過去 1 週間の使用湯量から学習した沸上開始湯量から設定いただく沸上停止湯量まで沸き上げます。	⑥深夜専用※1	ヒートポンプユニットの電源に深夜電力契約を使用するモード。設定いただく深夜時間に満タンまで沸き上げます。昼間時間は沸上停止し、給湯機能のみ使用できます。※混合給湯温度制御ができなくなるため、貯湯タンクユニットの電源は常時通電させてください。
④夜間電力マニュアル※1	設定いただく夜間時間に満タンまで沸き上げます。昼間時間は、設定いただく沸上開始湯量から沸上停止湯量まで沸き上げます。	●電力契約によって電源が切れている時間に、周囲温度が0℃以下になるおそれがある地域では、深夜専用モードを使用できません。配管やヒートポンプユニット内の水が凍結し、破損の原因となります。	
⑦休止	沸上を停止します。（定休日以外で、数日間湯を使用しない時や長期間、湯を使用しないとき（→40ページ）などに使用します。）		

設定方法は 17 ページをご参照ください。

⑧満タン※1　設定方法　満タン を押します。

（→36ページ）

運転時刻設定で設定した終了時刻もしくは、満タンモードに設定してから 24 時間経過するまでの間、タンク内の貯湯量がタンク総容量の約 85 %未満になると満タンになるまで沸き上げます。
（湯の使用量が多い時）

⑨強制沸上※1　設定方法　満タン と 実行 を同時に押します

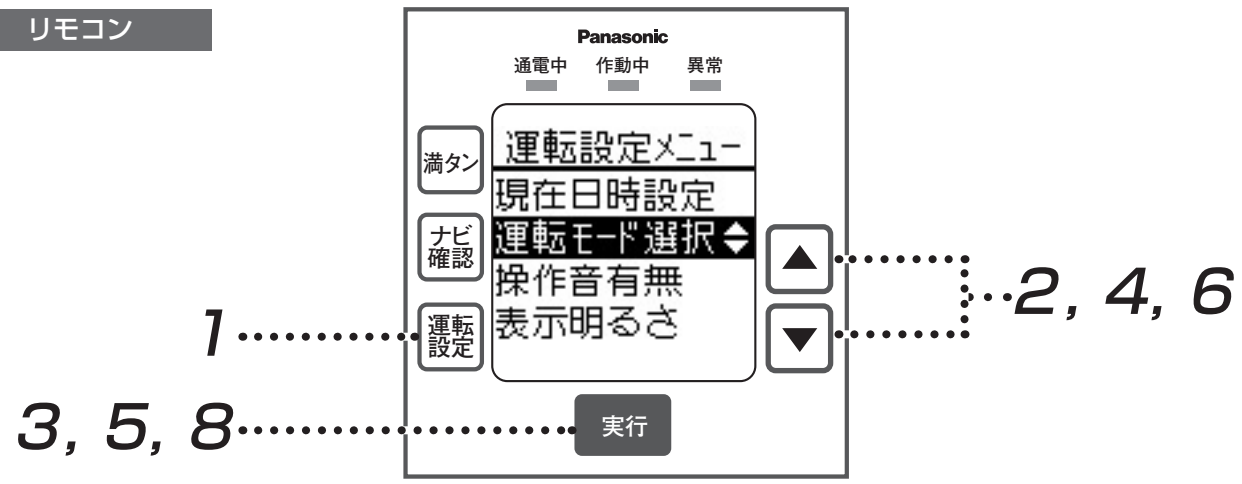
（→36ページ）

蓄熱調整モードで昼間時間に設定いただく沸上開始湯量から沸上停止湯量まで強制的に湯を沸き上げます。

※1　メインタンクの設定により、表示されない場合があります。表示されないモードは使用できません。

○操作運転モードの設定　（左ページの運転モードを選び設定します。）

リモコン



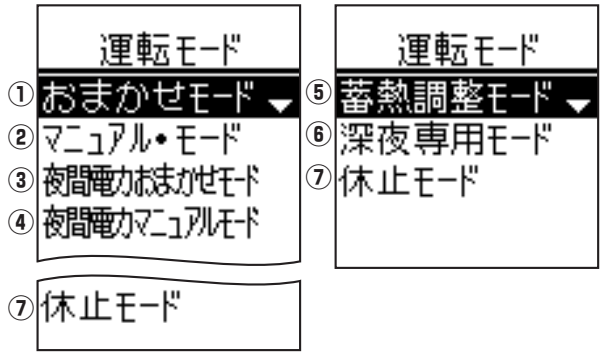
1. 運転設定 **を押します。**

2. ▲ ▼ **を押し、「運転モード選択」を選択します。**

3. 実行 **を押します。**

4. 運転モードのメニュー一覧が表示されますので ▲ ▼ **で設定したいモードを選択します。**

運転モード選択画面（※どちらかが表示されます。）



▲ ▼ **で上下の画面切替ができます。**

5. 実行 **を押します。**

選択したモードの切替画面が表示され、モード設定が完了します。
通常画面に切り替わります。

6. ⑦の休止モードを選んだ場合は、休止する日数を ▲ ▼ **で選択します。**

（1 ～ 15 日まで選択できます）

休止モードの日数指定画面

7. 実行 **を押します。**

モード設定が完了し、通常画面に切り替わります。

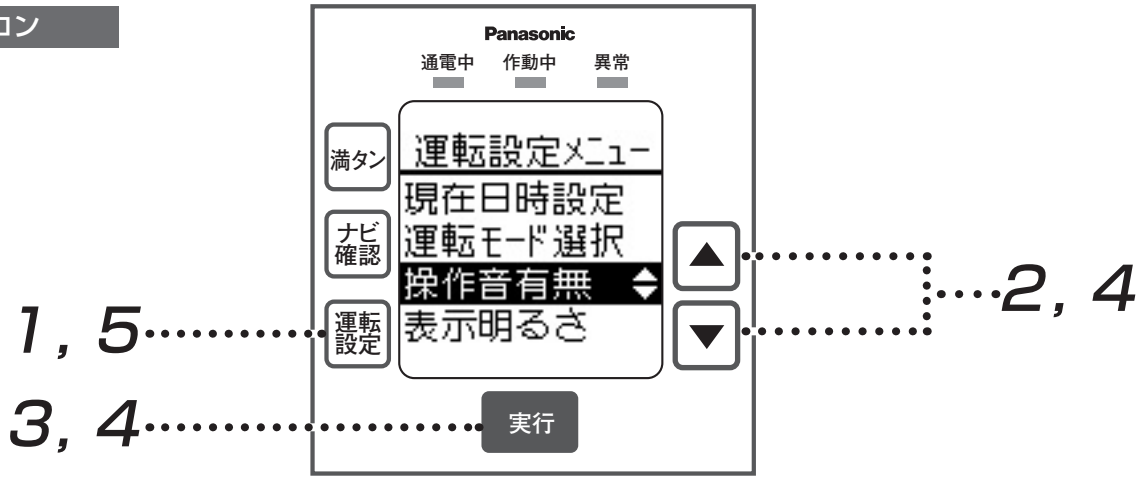
ワンポイント

- **夜間電力時間が未設定のときに、夜間電力おまかせモードや夜間電力マニュアルモードを選択して実行を押すと、夜間電力時間設定画面が表示されるので、夜間電力時間を設定してください。（→ 24 ページ）**
- **深夜電力時間が未設定のときに、深夜専用モードを選択して実行を押すと、深夜電力時間設定画面が表示されるので、深夜電力時間を設定してください。（→ 25 ページ）**
- **夜間電力おまかせモードに設定すると、通常画面に「夜間おま」と表示します。**
- **夜間電力マニュアルモードに設定すると、通常画面に「夜間マニュ」と表示します。**
- **▲ ▼ の 1 秒以上の長押しで、数値の変更ができます。**

3. 操作音有無の設定

●リモコン操作時の音の有／無を設定します。

リモコン



1. 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

2. ▲ ▼ を押し、「操作音有無」を選択します。

3. 実行 を押します。

操作音設定モードに切り替わります。

4. ▲ ▼ を押し、「操作音有無」（ON、OFF）を選択して、実行 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

ON	操作音あり
OFF	操作音なし

運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

4. 表示明るさの設定

●リモコンの表示部の輝度（明るい／ふつう／暗い）を設定します。

リモコン

1. 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

2. ▲ ▼ を押し、「表示明るさ」を選択します。

3. 実行 を押します。

操作時の表示明るさ設定モードに切り替わります。

操作時の表示明るさ

4. ▲ ▼ を押し、操作時の表示明るさを「明るい」、「ふつう」、「暗い」から選択して、

実行 を押します。

放置時の表示明るさ設定モードに切り替わります。

放置時の表示明るさ

5. ▲ ▼ を押し、放置時の表示明るさを「明るい」、「ふつう」、「暗い」から選択して、

実行 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

ワンポイント

●放置時の表示明るさは、スイッチ操作 10 分以降の明るさの設定です。

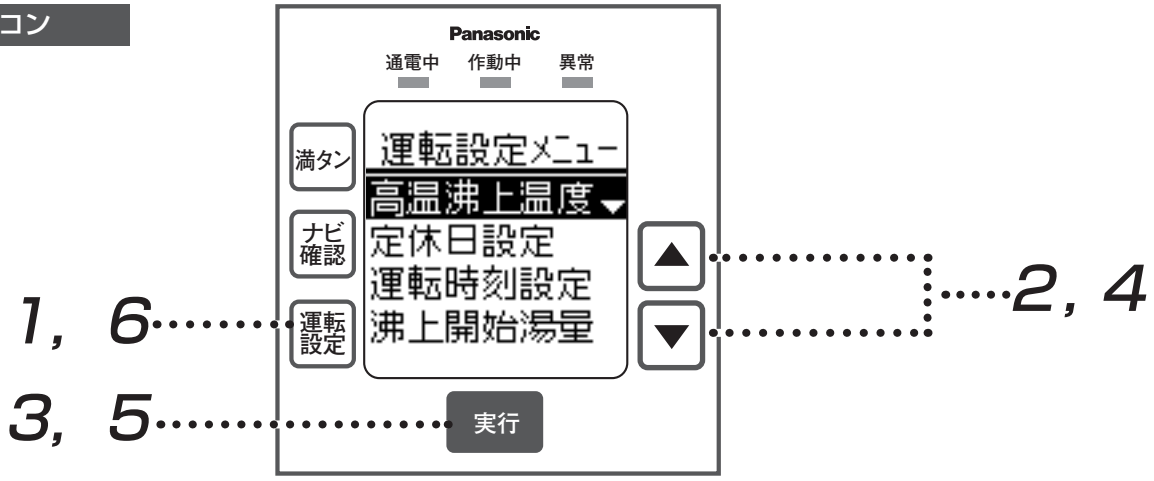
6. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

5. 高温沸上温度の設定

●高温出湯温度を考慮して設定してください。

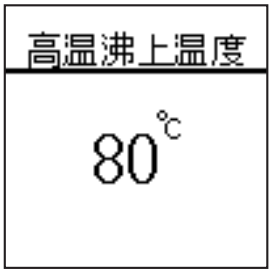
リモコン



1. 運転設定 を押します。

2. ▲ ▼ を押し、「高温沸上温度」を選択します。

3. 実行 を押します。



4. ▲ ▼ を押し、「高温沸上温度」を選択します。

（65、70、75、80、85、90℃のいずれかから）

5. 実行 を押します。

選択した温度が点灯し、設定が完了します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

6. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

ご注意

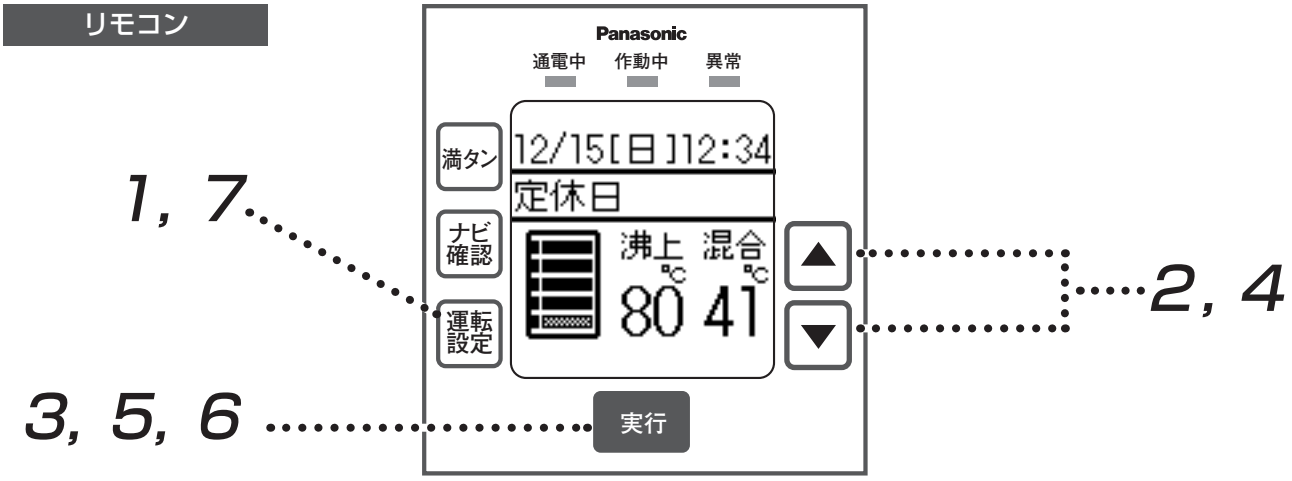
- 高温給湯温度は、タンクや配管の放熱ロスにより、ヒートポンプの高温沸上温度の設定値よりも低くなります。また、長時間ご使用にならなかった場合や大量にお湯を使った場合など、お湯のご使用状況により、さらに給湯温度が低くなることがあります。
- 高温出湯配管や給湯栓などの耐熱温度より高く設定しないでください。耐熱温度は、取扱店（工事店）にご確認ください。
- 高温沸上温度の設定を変更した後しばらくは、通常画面の沸上温度と異なる温度の湯が出ることがあります。
  高温出湯温度は、次回以降のヒートポンプユニットの沸上時の温度設定のため、貯湯されている湯の温度を、すぐに変えることはできません。
- 高温沸上温度を低くすると一日に使用できる湯の量が少なくなります。（混合給湯をしている場合）
- サブタンクを 3 台接続している場合、沸上温度を 65 ℃に制御できない（1 ℃程度高くなる）場合があります。

ワンポイント

- 沸上温度を低く設定したほうがエネルギー効率がよく、寿命も長くなります。80 ℃以下で使用することをお勧めします。
  ＊沸上温度を下げると、貯湯熱量が少なくなります。

6. 定休日の設定

●曜日ごとにヒートポンプユニットの運転日、定休日を設定することができます。



1. 運転設定 を押します。

2. ▲ ▼ を押し、「定休日設定」を選択します。

3. 実行 を押します。

4. ▲ ▼ を押し、日曜日から順に営業、定休日を選択します。

- ▲ を押すと営業日になります。
- ▼ を押すと定休日になります。

5. 実行 で次の曜日へ移ります。各曜日の営業日、定休日を合わせます。（土曜日まで）

6. 実行 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

7. 運転設定 を押します。

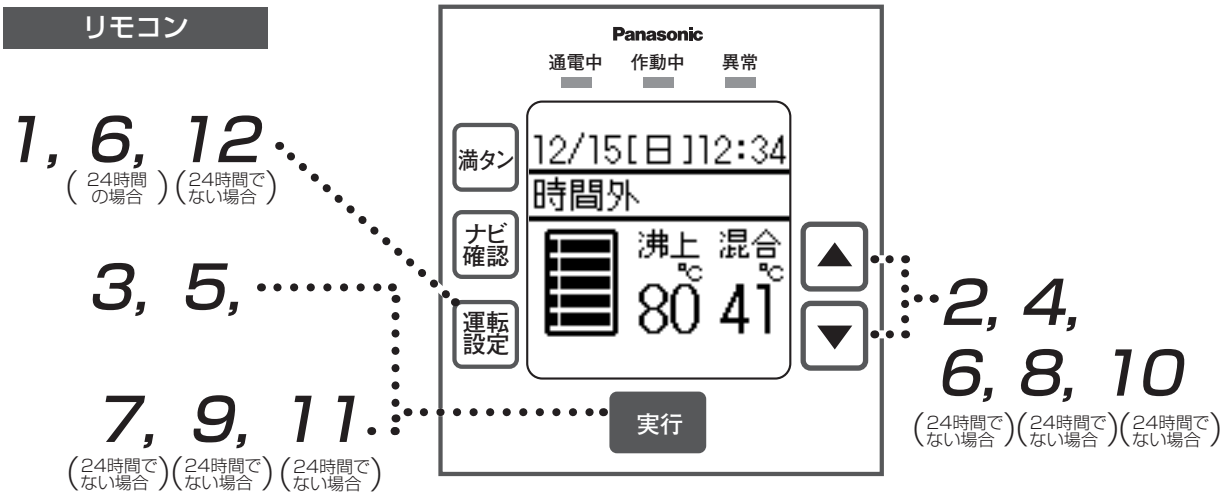
通常画面に切り替わります。

ワンポイント

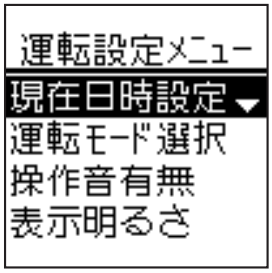
- ●定休日に設定されている日でも、湯を使用していれば、通常の営業日と同様の運転をおこないます。
- ●工場出荷時は、毎日「営業日」と設定しています。
- ●リモコン画面の●表示は営業日、×表示は定休日を表します。

7. 運転時刻の設定

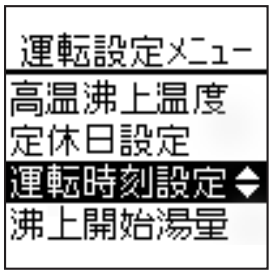
●お店の準備開始時刻、片付け終了時刻を設定してください。
24 時間営業のお店にも対応しております。



1. 運転設定 を押します。



2. ▲ ▼ を押し、「運転時刻設定」を選択します。



3. 実行 を押します。

＜営業形態が24時間の場合＞

4. ▲ ▼ を押します。

5. 「YES」を選択し、実行 を押します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

6. 運転設定 を押します。
通常画面に切り替わります。

＜営業形態が24時間でない場合＞

4. ▲▼を押します。

5. 「NO」を選択し、実行 を押します。

6. 準備開始時刻（時）を▲▼を押し、合わせます。

7. 実行 を押します。

8. 準備開始時刻（分）を▲▼を押し、合わせます。

9. 実行 を押します。

10. 片付け終了時刻（時・分）も同様に合わせます。

11. 実行 を押します。
すべて点灯し、設定が完了します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

12. 運転設定 を押します。
通常画面に切り替わります。

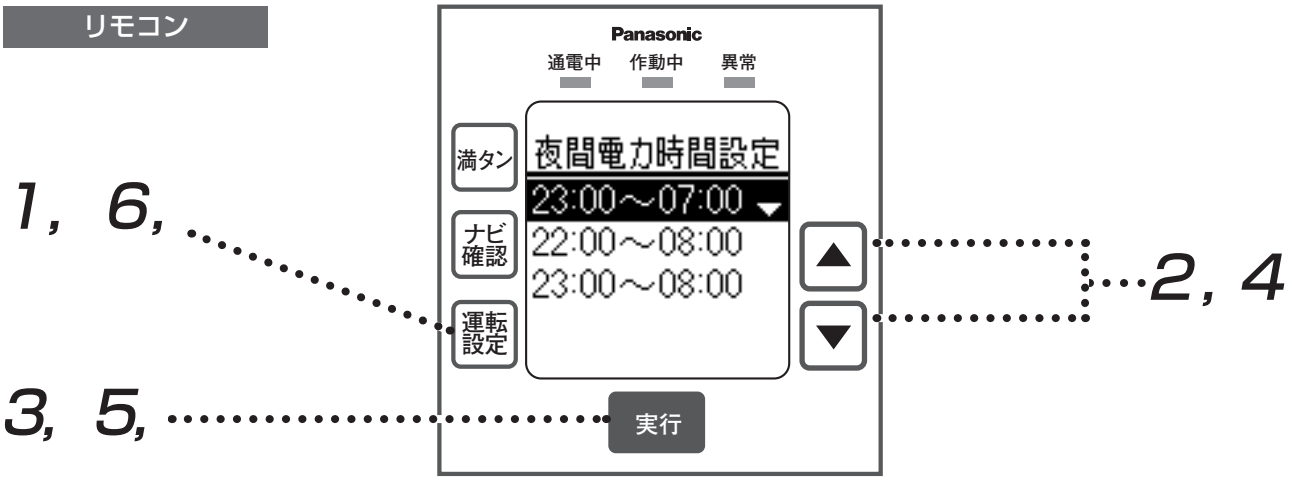
ワンポイント

- 工場出荷時は、「24 時間運転」と設定しています。
- 時間外に湯を使用すると、湯の使用から 1 時間だけ運転時間と同様の運転を行います。
- ▲▼の 1 秒以上の長押しで、数値の変更ができます。

8. 夜間電力時間の設定

●夜間電力おまかせモード、夜間電力マニュアルモード時のみ本設定は有効です。
夜間電力時間に満タンになるようにヒートポンプユニットを運転します。
※貯湯量によっては夜間電力時間に満タンにならない場合もあります。

リモコン



1. 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

2. ▲ ▼ を押し、「夜間電力時間設定」を選択します。

3. 実行 を押します。

4. ▲ ▼ を押し、夜間電力時間を選択します。

5. 実行 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

6. 運転設定 を押します。

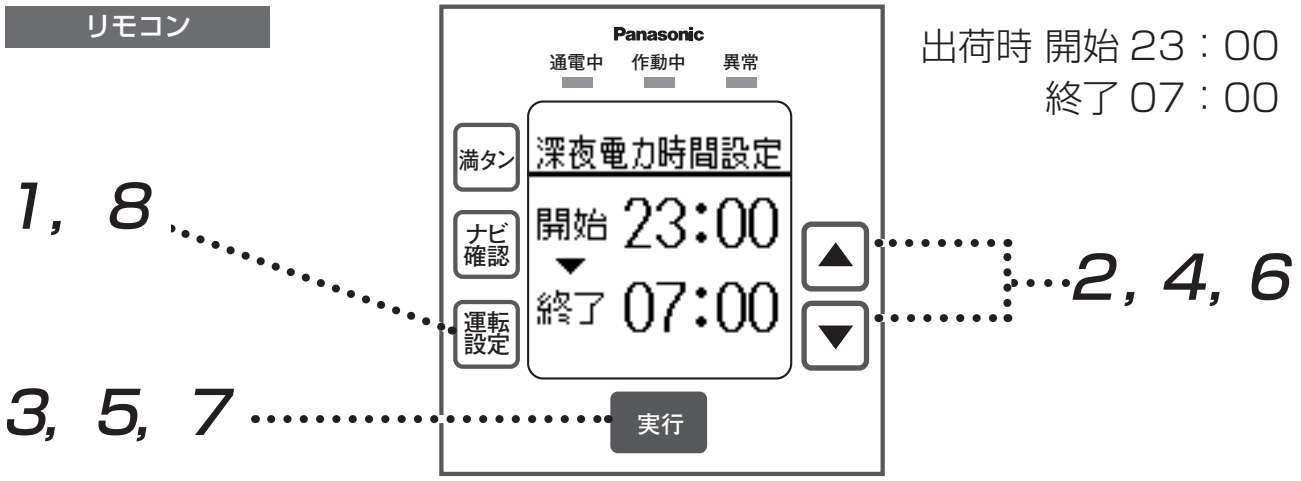
通常画面に切り替わります。

[夜間電力時間の設定可能時間]

夜間電力時間	
23:00～7:00	8時間
22:00～8:00	10時間
23:00～8:00	9時間

9. 深夜電力時間の設定

●深夜専用モード時のみ本設定は有効です。深夜電力時間に満タンになるようにヒートポンプユニットを運転します。
※貯湯量によっては深夜電力時間に満タンにならない場合もあります。



1. 運転設定 **を押します。**

「運転設定メニュー」に切り替わります。

2. ▲ ▼ **を押し、「深夜電力時間設定」を選択します。**

3. 実行 **を押します。**

4. ▲ ▼ **を押し、開始時刻を合わせます。**

（20 時～ 3 時まで）

5. 実行 **を押します。**

6. ▲ ▼ **を押し、終了時刻を合わせます。**

（4 時～ 10 時まで）

7. 実行 **を押します。**

すべて点灯し、設定が完了します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

8. 運転設定 **を押します。**

通常画面に切り替わります。

[深夜電力時間の設定可能時間]

深夜電力時間	
開始時間	終了時間
20:00	4:00
21:00	5:00
22:00	6:00
23:00	7:00
0:00	8:00
1:00	9:00
2:00	10:00
3:00	

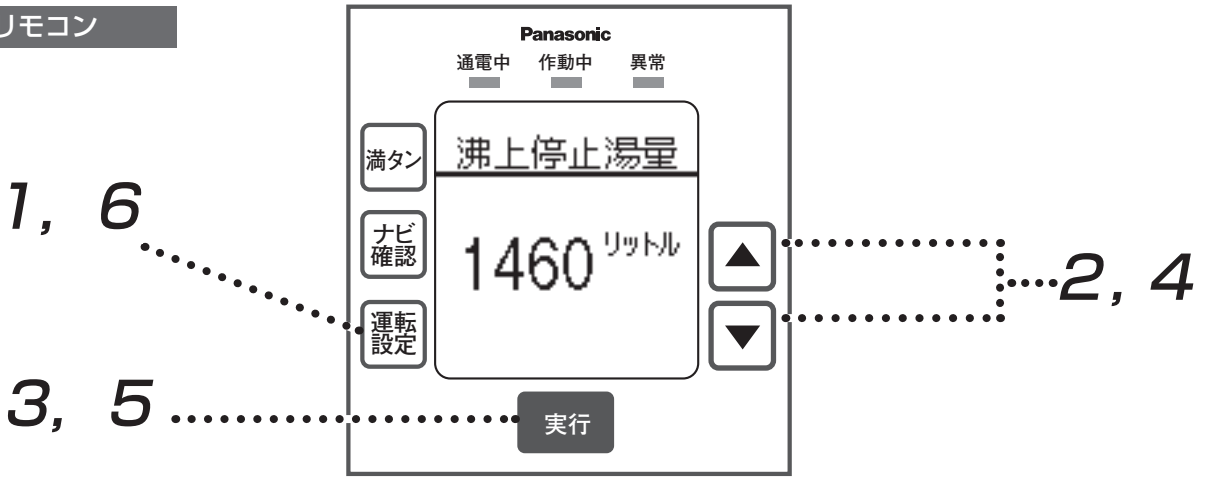
ご注意

●ヒートポンプユニットの沸上可能時間は、開始時間の３０分後から終了時間の３０分前までになります。

10. 沸上開始湯量の設定

○マニュアル・モード、夜間電力マニュアルモード、強制沸上モード時のみ本設定は有効です。
貯湯タンク内の湯量が沸上開始湯量を下回ると、ヒートポンプユニットは、沸き上げを開始します。
夜間電力マニュアルモード、強制沸上モードは、昼間時間の沸上開始湯量のみ設定できます。

リモコン



1. 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

2. ▲ ▼ を押し、「沸上開始湯量」を選択します。

3. 実行 を押します。

4. ▲ ▼ を押し、沸上開始湯量を設定します。

- ▲ を押すと量が増えます。
- ▼ を押すと量が減ります。

5. 実行 を押します。

点灯し、設定が完了します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

6. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

ワンポイント

●沸上開始湯量は、ナビ確認モードの湯量表示（→ 38 ページ）で最少残湯量を確認してから設定してください。マニュアルモードや夜間電力マニュアルモードで湯切れする場合は沸上開始湯量を増やしてください。

[設定可能リットル数]

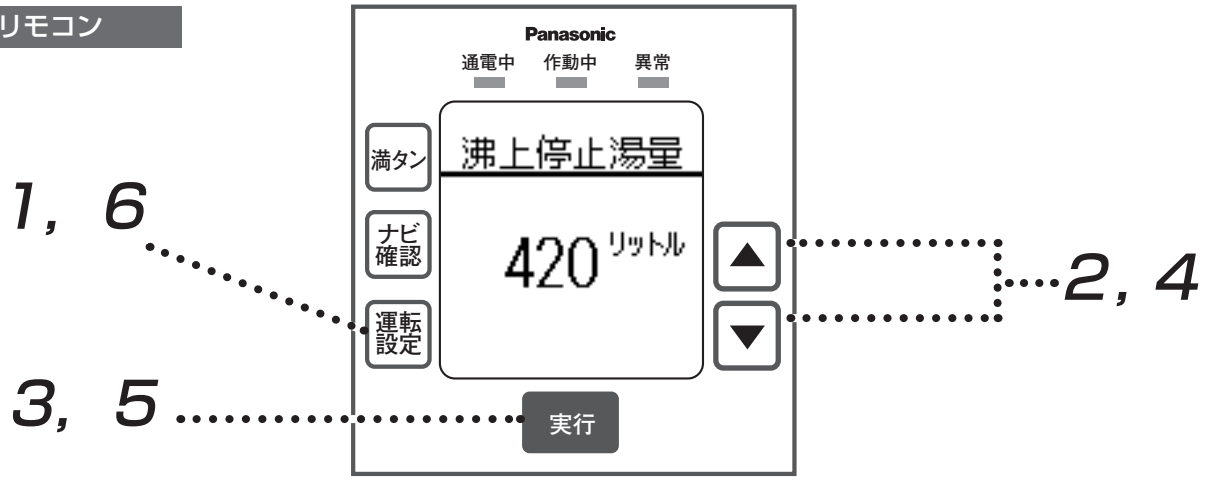
運転モード	タンク 1 台	タンク 2 台	タンク 3 台	タンク 4 台
マニュアルモード（即湯タイプ）	250	420～620	620～1040	940～1460
マニュアルモード（標準タイプ／ハイブリッドタイプ）	75～250			
夜間電力マニュアルモード	75～250	75～620	75～1040	75～1460
強制沸上モード	250	350～620	350～1040	350～1460

＊設定可能な値は、75、150、250、350、420、520、620、740、840、940、1040、1160、1260、1360、1460 です。

11. 沸上停止湯量の設定

○夜間電力おまかせモード、夜間電力マニュアルモード、強制沸上モード時のみ本設定は有効です。
昼間時間に、貯湯タンク内の湯量が沸上停止湯量になると、ヒートポンプユニットは沸き上げを停止します。

リモコン

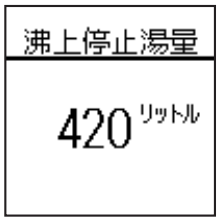


1. 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

2. ▲ ▼ を押し、「沸上停止湯量」を選択します。

3. 実行 を押します。



4. ▲ ▼ を押し、「沸上停止湯量」を設定します。

- ▲ を押すと量が増えます。
- ▼ を押すと量が減ります。

5. 実行 を押します。

点灯し、設定が完了します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

6. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

ワンポイント

- 夜間電力おまかせモードや夜間電力マニュアルモードで湯切れする場合は沸上停止湯量を増やしてください。
- 沸上停止湯量を 0 リットルに設定すると、昼間時間はヒートポンプユニットは沸き上げません。
- 沸上停止湯量は、沸上開始湯量（→ 26 ページ）より大きい値のみ設定できます。（0 リットルを除く）

[設定可能リットル数]

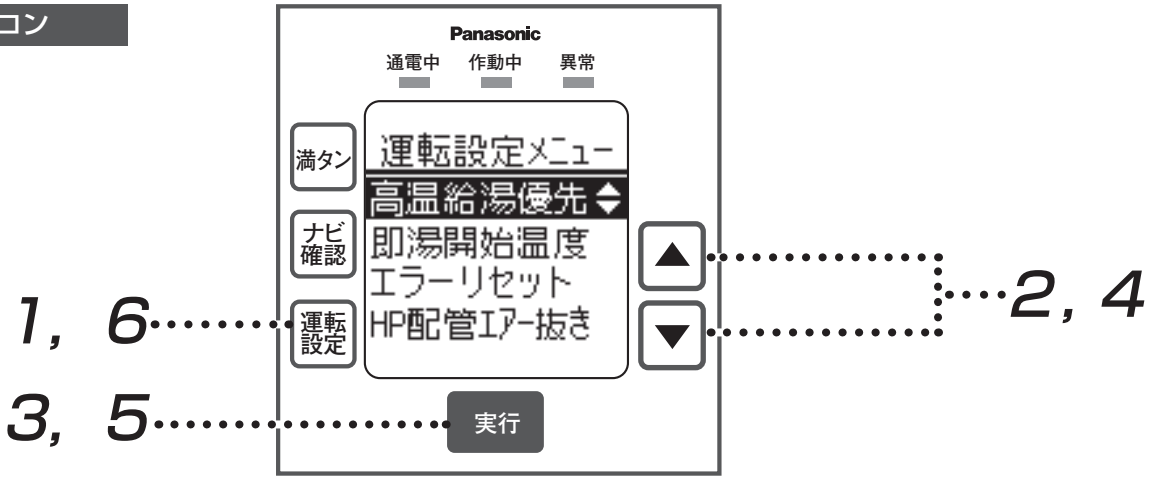
運転モード	沸上停止湯量(リットル)			
	タンク1台	タンク2台	タンク3台	タンク4台
夜間電力おまかせモード	0~420	0~840	0~1260	0~1680
夜間電力マニュアルモード				
強制沸上モード	0、420	0、420~840	0、420~1260	0、420~1680

*設定可能な値は、0、250、350、420、520、620、740、840、940、1040、1160、1260、1360、1460、1580、1680です。

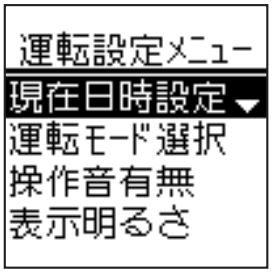
12. 高温給湯優先の設定

- 貯湯タンクの残湯量が 75 リットルより少なくなった時に、高温給湯用の湯を確保し、混合給湯では湯を出さないようにする機能です。
- 即湯タイプのみ使用できます。

リモコン



1. 運転設定 を押します。



2. ▲ ▼ を押し、「高温給湯優先」を選択します。

3. 実行 を押します。

4. ▲ ▼ を押し、高温給湯優先をする、しないを選択します。

5. 実行 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

6. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

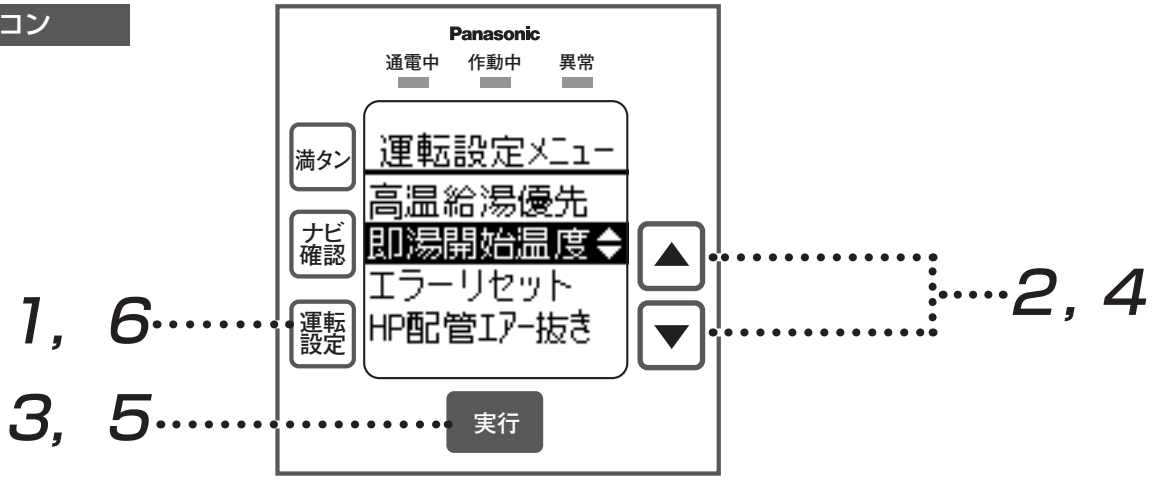
ワンポイント

- 高温給湯優先するに設定するとタンクに湯が残っていても混合給湯温度が一時的に低下することがあります。

13. 即湯開始温度の設定

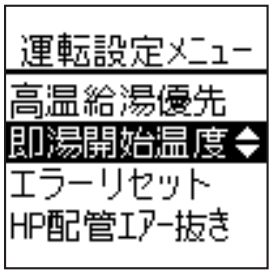
●即湯運転を開始する温度を設定します。
●即湯タイプのみ使用できます。

リモコン



1. 運転設定 を押します。

2. ▲ ▼ を押し、「即湯開始温度設定」を選択します。



3. 実行 を押します。

4. ▲ ▼ を押し、0℃（即湯しない）、55℃～80℃（1℃刻み）のいずれかを選択します。

ワンポイント

●即湯機能を使用しない場合には、設定温度を0℃に設定してください。

5. 実行 を押します。

点灯し、設定が完了します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

6. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

ワンポイント

●高温沸上温度－10℃より高い温度には設定できません。
●▲ ▼ の 1 秒以上の長押しで、数値の変更ができます。

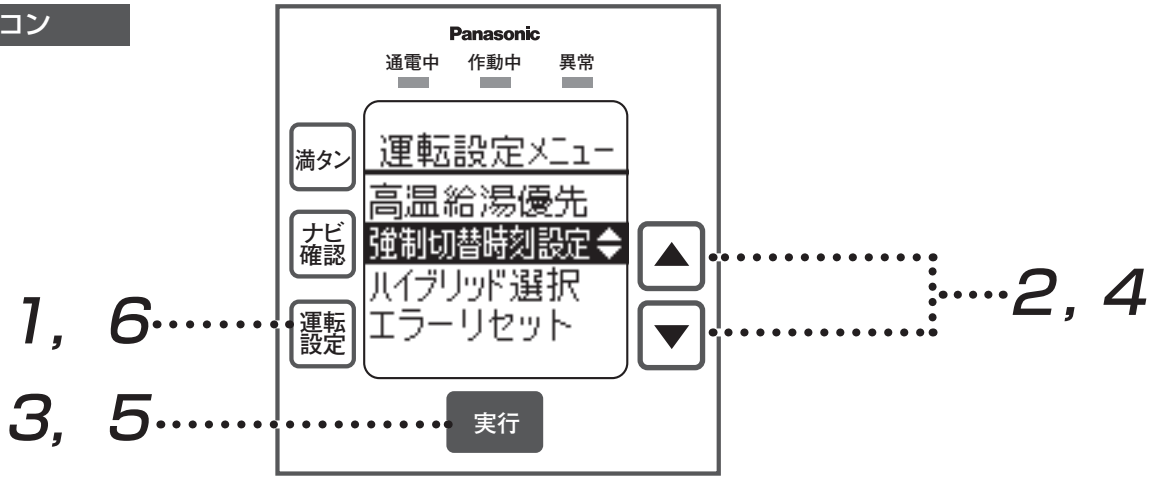
ご注意

●タンク内の湯温が、即湯開始温度の設定値より 5℃以上高い場合に、即湯運転が働きます。
●タンク内の湯温が冷めたり、高温給湯を繰り返すと即湯運転が働きません。
●即湯運転により、タンク内の湯温が低下する場合があります。
●即湯開始温度を0℃（即湯しない）に設定すると、即湯循環配管内の水が滞留します。
長期間即湯機能を使用しておらず、再度即湯機能を使用する場合、取扱店（工事店）に連絡し即湯循環配管内の滞留水を排水してください。

14. 強制切替時刻の設定

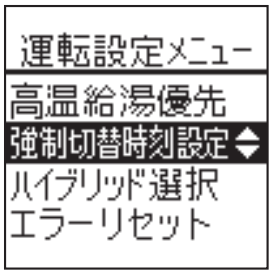
○１日以上、他機器からの給湯が行われていない場合に、一時的に他機器からの給湯に切り替えます。
○ハイブリッドタイプのみ使用できます。

リモコン



1. 運転設定 を押します。

2. ▲ ▼ を押し、「強制切替時刻設定」を選択します。



3. 実行 を押します。

4. 強制切替時刻（時）を ▲ ▼ を押し、合わせます。

5. 実行 を押します。

6. 強制切替時刻（分）を ▲ ▼ を押し、合わせます。

7. 実行 を押します。

点灯し、設定が完了します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

8. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

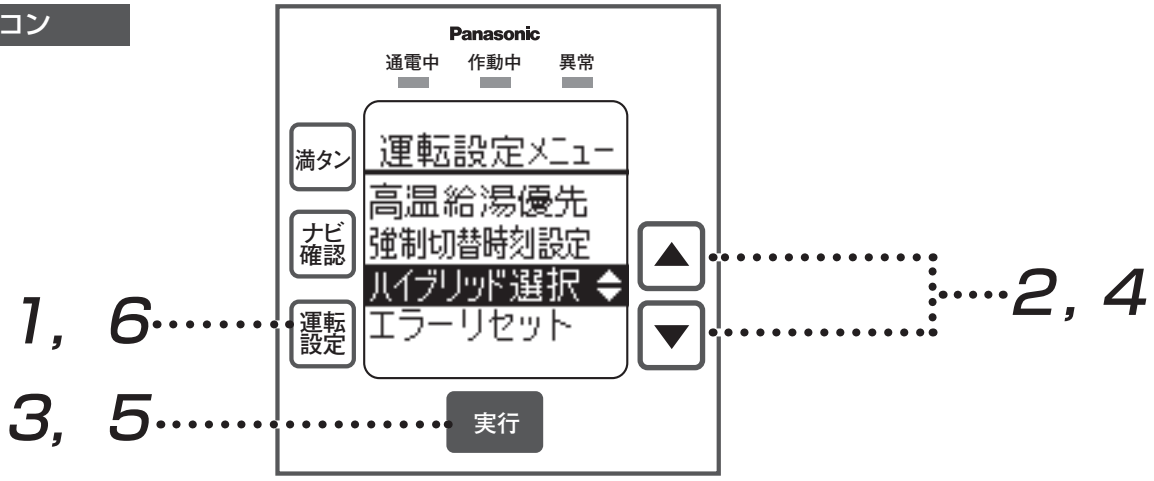
ワンポイント

- １日以上、他機器からの給湯が行われていない場合に、他機器からの給湯を行いますので、お湯を使用する時刻を設定してください。
- 強制切替時に一時的に設定温度より低い温度のお湯が出る可能性があります。設定時刻は、お湯を使用する時間帯のなかで可能な限り影響の出ない時間帯に設定してください。
- ▲ ▼ の１秒以上の長押しで、数値の変更ができます。

15. ハイブリッド制御の設定

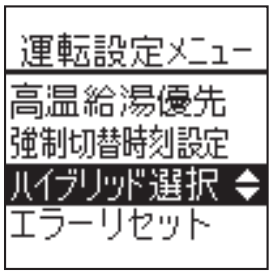
●エコキュートとガス給湯器など他機器との切替モードを選択します。
●ハイブリッドタイプのみ使用できます。

リモコン



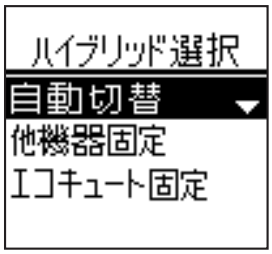
1. 運転設定 を押します。

2. ▲ ▼ を押し、「ハイブリッド選択」を選択します。



3. 実行 を押します。

4. 選択可能なメニュー一覧が表示されますので、▲ ▼ で設定したいモードを選択します。



モード	特徴
自動切替	エコキュートのお湯がなくなると、エコキュートからガス給湯器など他機器に自動で切替を行います。エコキュートのお湯が貯まると、ガス給湯器など他機器からエコキュートに自動で切替を行います。
他機器固定	エコキュートの貯湯量に関わらずガス給湯器など他機器から給湯を行います。
エコキュート固定	エコキュートの貯湯量に関わらずエコキュートから給湯を行います。

ワンポイント

●自動切替モードでエコキュートから給湯される場合には、通常画面に「エコ自動」、他機器から給湯される場合には、「他機自動」と表示します。
●エコキュート固定モードに設定すると、通常画面に「エコ固定」と表示します。
●他機器固定モードに設定すると、通常画面に「他機固定」と表示します。
●切替中は、通常画面に切替中と表示します。

ご注意

●切替時に流量や湯温が変動します。リモコンブザーで切替の発生をお知らせします。
●切替時に一時的に低温水がでる可能性がありますので、シャワーなど直接肌に触れる用途に使われる場合には、エコキュートと他機器の給湯切替を自動で行うか、手動で行うか、あらかじめご検討ください。
●お湯の使われ方によって、ガス給湯器など他機器の使用頻度が高くなる可能性があります。
●他機器からの給湯の温度設定などは、他機器のリモコンなどで適切に調節してください。

5. 実行 を押します。

点灯し、設定が完了します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

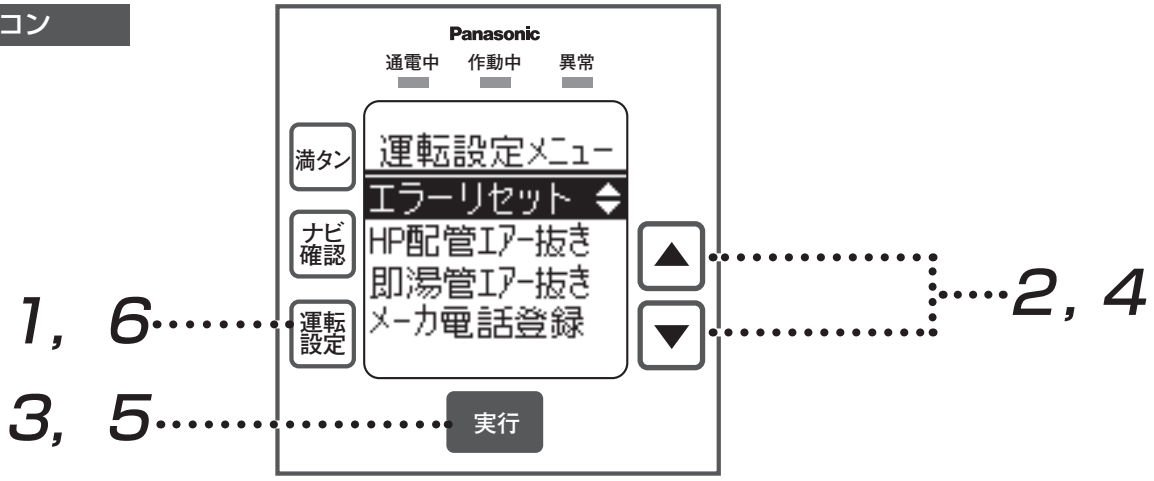
6. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

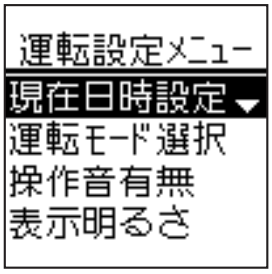
16. エラーリセット

●現在発生中のアラーム・エラーをクリアします。

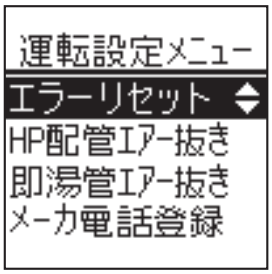
リモコン



1. 運転設定 を押します。



2. ▲ ▼ を押し、「エラーリセット」を選択します。



3. 実行 を押します。

4. ▲ ▼ を押し、「エラーリセット」の開始を選択します。

5. 実行 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

6. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

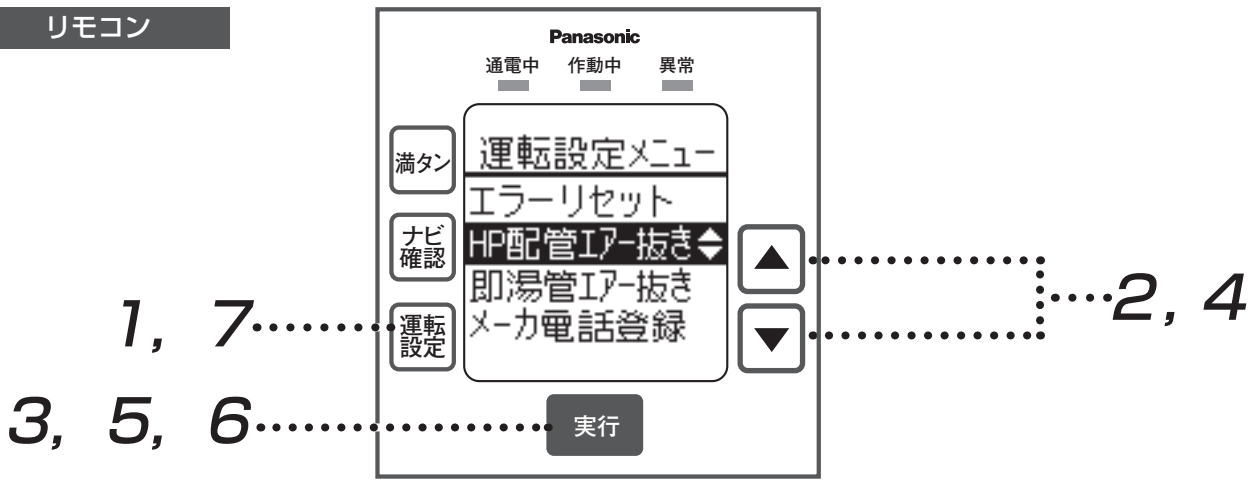
ワンポイント

●アラーム・エラーの原因が取り除かれていない場合は、再度アラーム・エラーが表示されます。

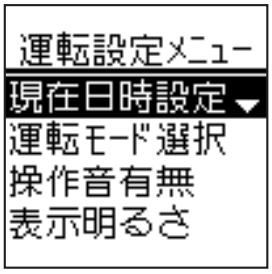
17. ヒートポンプ配管エアー抜き

●ヒートポンプユニット循環配管内にあるエアーを抜きます。

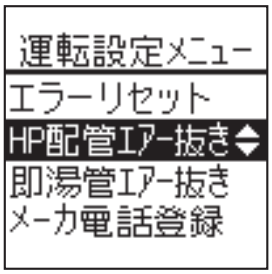
リモコン



1. 運転設定 を押します。



2. ▲ ▼ を押し、「HP 配管エアー抜き」を選択します。



3. 実行 を押します。

4. ▲ ▼ を押し、「HP 配管エアー抜き」の開始を選択します。

5. 実行 を押します。

「HP 配管エアー抜き運転中」に切り替わります。

※運転開始から約 20 ～ 40 分後、自動的にヒートポンプ配管エアー抜き運転が終了します。

<ヒートポンプ配管エアー抜きを中止する場合>

6. 「HP 配管エアー抜き運転中」に 実行 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

7. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

ワンポイント

●ヒートポンプユニットと貯湯タンクユニット間の配管から空気の混ざった水が流れるゴボゴボという音がします。音がしなくなってからしばらく経つとエアー抜きが完了します。

●ヒートポンプ配管エアー抜き運転後は逃し弁のレバーを起こし、ドレンホースから空気の混ざった水が出ることを確認してください。

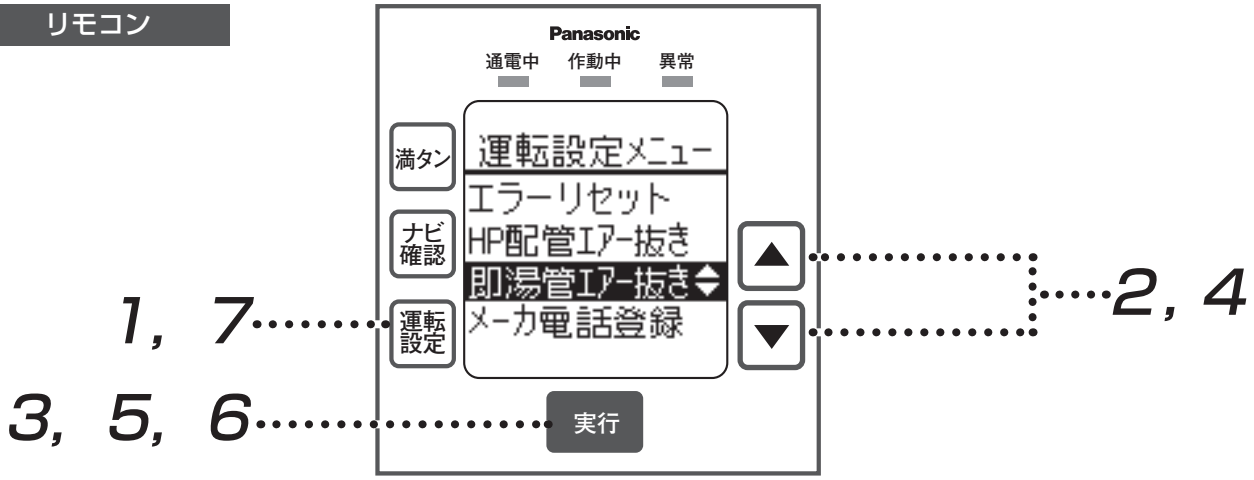
ご注意

●エアー抜きは十分行ってください。エアー抜きが不十分な場合、運転時に異常が発生するおそれがあります。

18. 即湯管エアー抜き

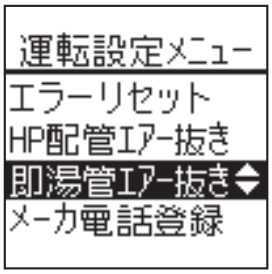
- 即湯循環配管内にあるエアーを抜きます。
- 即湯タイプのみ使用できます。
- 即湯水抜き栓を開いた状態で実施してください。（→ 44 ページ 7 を参照）

リモコン



1. 運転設定 を押します。

2. ▲ ▼ を押し、「即湯管エアー抜き」を選択します。



3. 実行 を押します。

4. ▲ ▼ を押し、「即湯管エアー抜き」の開始を選択します。

5. 実行 を押します。

「即湯管エアー抜き運転中」に切り替わります。

※運転開始から約 20 分後、自動的に即湯管エアー抜き運転が終了します。

＜即湯管エアー抜きを中止する場合＞

6. 「即湯管エアー抜き運転中」に 実行 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

7. 運転設定 を押します。

通常画面に切り替わります。

ワンポイント

- 機器内部の即湯ポンプからゴボゴボという音がします。音がしなくなってからしばらく経つとエアー抜きが完了します。
- 即湯管エアー抜き運転中にエラーが発生する場合があります。このとき、取扱店（工事店）に連絡し、手動によるエアー抜きを行なってください。（→ 44 ページ 7 を参照）
- 即湯管エアー抜き運転後は逃し弁のレバーを起こし、ドレンホースから空気の混ざった水が出ることを確認してください。

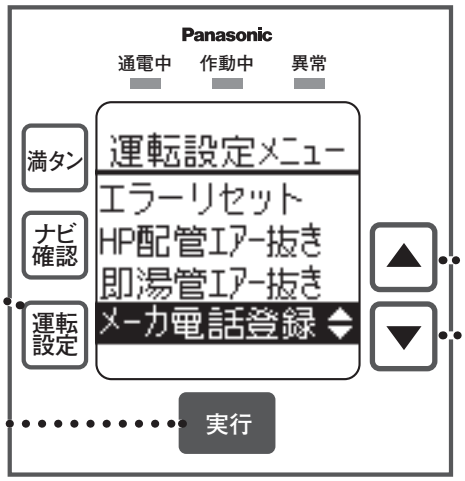
ご注意

- エアー抜きは十分行ってください。エアー抜きが不十分な場合、運転時に異常が発生するおそれがあります。

19. メーカ電話登録

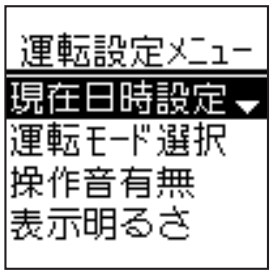
- 故障時の連絡先（メーカ）の電話番号を登録することができます。
- 初期設定は、パナソニックエコソリューションズお客様相談窓口の電話番号が登録されています。

リモコン

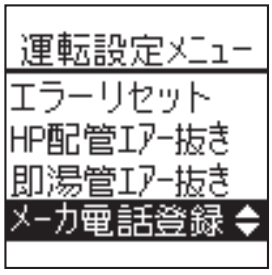


1. 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。



2. ▲ ▼ を押し、「メーカ番号登録」を選択します。



3. 実行 を押します。

メーカ電話登録のモードに切り替わります。

4. ▲ ▼ を押し、1 桁目に数字などを設定します。

設定する位置が点滅します。
“0”～“9”、“—”、“_”、“ ”（空白）のいずれかを選択してください。

5. 実行 を押します。

6. 2～13 桁目も 4.5. の手順を繰り返します。

すべての数値が 3 秒間点灯し、上記設定の電話番号を記憶します。「運転設定メニュー」に切り替わります。

7. 運転設定 を押します。

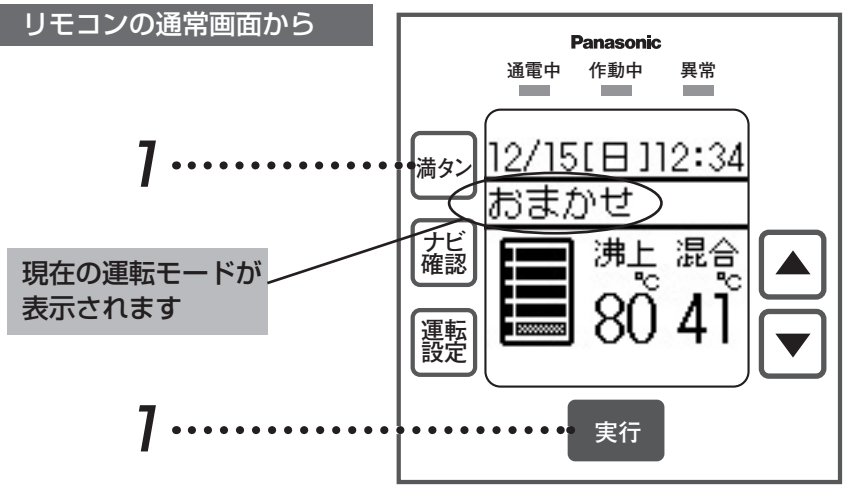
通常画面に切り替わります。

ワンポイント

- 設定できる文字は、“0”～“9”、“—”、“_”、“ ”（空白）があります。
- ▲ ▼ の 1 秒以上の長押しで、数値の変更ができます。

満タンモードの設定 / 強制沸上モードの設定

リモコンの通常画面から



満タンモードの設定

●標準運転モードの場合のみ利用可能です。

1. 満タン を押します。

モード切替画面が表示され、通常画面に切り替わります。

ワンポイント

●運転時刻設定で設定した終了時刻もしくは、満タンモードに設定してから 24 時間経過した場合、あらかじめ設定されていた運転モードに戻ります。ただし、沸き上げを開始すると満タンになるまで満タンモードを継続します。

満タンモードの解除

1. 満タン を押します。

モード切替画面が表示され、通常画面に切り替わります。

強制沸上モードの設定

●蓄熱調整モードの昼間時間のみ利用可能です。

ワンポイント

●強制沸上モードは、昼間の湯の使用量が多くなるときにご使用ください。
●夜間電力時間になると、蓄熱調整モードに切り替わります。

強制沸上モードの解除

1. 満タン と 実行 を同時に押します。

モード切替画面が表示され、通常画面に切り替わります。

ナビ確認モード

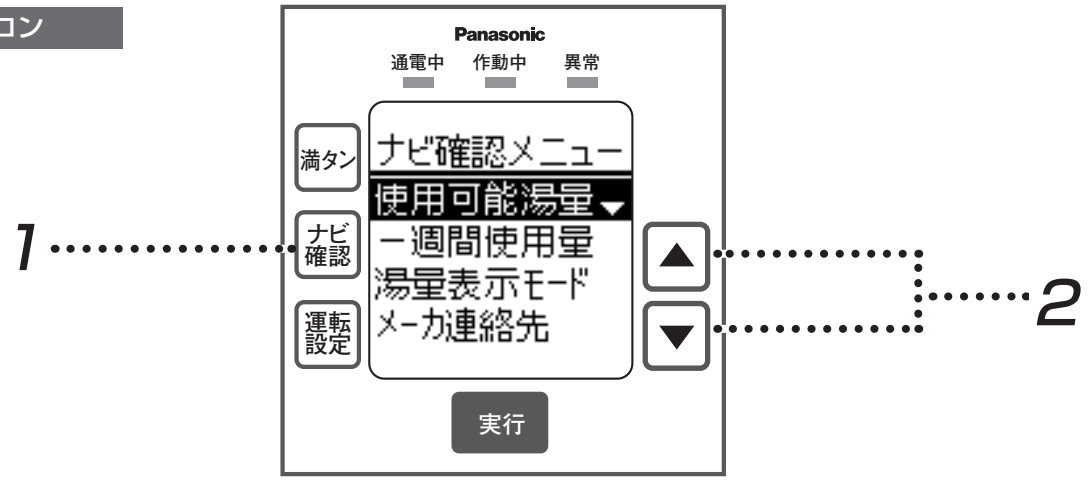
O 使用可能湯量、1 週間使用可能湯量などの情報を表示します。

ナビ確認モードの種類

表示	内容	ページ
使用可能湯量	タンク貯湯量を表示します。	38
1 週間の使用湯量	前日から過去 1 週間分の、曜日別使用湯量を表示します。※1	38
湯量表示モード	沸上開始湯量と最少残湯量を表示します。	38
メーカ連絡先	故障時の連絡先の電話番号を表示します。	38
貯湯温度表示	貯湯タンク上部の温度を表示します。	38
停電履歴	過去に発生した停電発生、復帰日時の履歴を表示します。（最大８件）	39
除霜運転履歴	過去に発生した除霜運転の履歴を表示します（最大８件）	39
過去エラー表示	過去に発生したエラーを表示します。	39
給湯量	現在の高温給湯流量と混合給湯流量を表示します。※2	39

※1　年・月・日が正しく設定されていないと、曜日が正しく表示されません。
※2　給湯量は、ハイブリッドタイプのみ表示されます。

リモコン



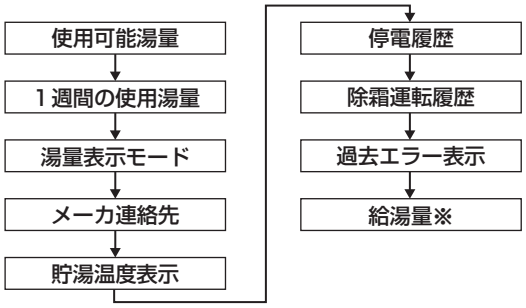
1. ナビ確認 を押します。

●ナビ確認メニューを表示します。

2. ▲ ▼ を押し、選択項目を切り替えます。

●選択項目は、次の順番で切り替わります。

ナビ確認メニュー



※選択した項目は、白抜き文字になります。
※給湯量は、ハイブリッドタイプのみ表示されます。

3. 実行 を押します。

●選択したモードに切り替わります。

ナビ確認モードの終了方法

●選択したモード中で

ナビ確認 を押します。または、30 秒間放置すると「通常画面」に切り替わります。

●ナビ確認メニュー中で

ナビ確認 を押します。または、30 秒間放置すると「通常画面」に切り替わります。

使用可能湯量表示

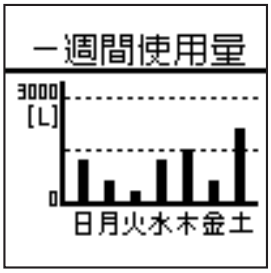
即湯タイプの場合

標準タイプの場合

貯湯タンクに貯えられている湯量を表示します。

- ●高温は濃く、中温は薄く表示されます。
- ●湯量バーの表示については「貯湯量表示について」をご参照ください。（→10ページ）
- ●高温は、約 75 ℃以上、中温は、約 45 ℃以上の湯を表示します。

1 週間の使用湯量表示



曜日別使用湯量表示は、前日から 1 週間分を表示します。

- ●高温沸上温度換算での使用湯量が表示されます。

湯量表示

貯湯タンクの湯量が沸上開始湯量より減るとヒートポンプユニットが運転開始します。

（マニュアルモード、夜間電力マニュアルモード、強制沸上モードのみ）（→16ページ）

最少残湯量は過去 1 週間で、最も湯が減った時の残湯量を表示します。

（ただし、電源を入れて 1 週間は、0 リットルを表示します。）

メーカ連絡先

お知らせ

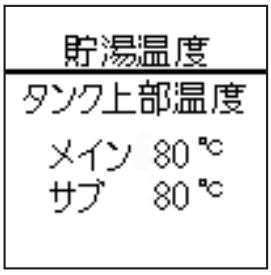
- ●メーカ連絡先を表示します。

運転設定モードのメーカ電話登録で設定、変更できます。
（→ 35 ページ）

貯湯温度表示

メインタンクのみの場合

サブタンクがある場合



貯湯タンクの上部の温度を表示します。

- ●サブタンクが複数台ある場合は、No.1 の値を表示します。

ナビモード

停電履歴

過去に発生した停電発生日時と復帰日時を表示します。

- ●最初に表示される画面が最新の停電日時です。最大８件保持し、古いデータから削除されます。
- ●▲▼を押し、画面を切り替えることで過去のデータを表示できます。

ワンポイント

発生日時は下記のように表示されます。

（例）2010年3月21日の12時15分に発生した場合

10 03 21 12 15
年 月 日 時 分

除霜運転履歴

過去に発生した除霜運転の日時とヒートポンプ番号を表示します。

- ●最初に表示される画面が最新の停電日時です。最大８件保持し、古いデータから削除されます。
- ●▲▼を押し、画面を切り替えることで過去のデータを表示できます。

ワンポイント

発生日時は下記のように表示されます。

（例）2010年3月21日の12時15分に発生した場合

10 03 21 12 15
年 月 日 時 分

過去エラー表示

過去に発生したエラーを表示します。

- ●最初に表示される画面が最新のエラーです。最大８件保持し、古いデータから削除されます。
- ●▲▼を押し、画面を切り替えることで過去のデータを表示できます。
- ●異常が発生した場合は、発生日時、エラー番号を確認の上、取扱店（工事店）に連絡し、点検・修理を依頼してください。

ワンポイント

発生日時は下記のように表示されます。

（例）2010年3月21日の12時15分に発生した場合

10 03 21 12 15
年 月 日 時 分

給湯量※

現在のエコキュートからの給湯量を表示します。

- ●ガス給湯器など他機器からの給湯に切り替わっている場合には、給湯量は0リットルになります。

※ハイブリッドタイプのみ表示します。

しばらく湯を使用しないとき

数日間、湯を使用しないとき

● 数日間、湯を使用しないときは、リモコンで沸上を停止させることができます。

1. 休止モードにします

●運転モードを休止モードに設定します。(→ 16 ページ)

設定できる範囲
・1 日～ 15 日（1 日刻み）

⚠注意

禁止

●電源を「OFF」にしない
「ON」ではヒートポンプユニットが凍結予防運転を行いますが「OFF」ではその機能が作動しません。また、タンク内の凍結防止ヒーターが作動せずタンク内部配管が凍結して破損する原因になります。

2. 再開の方法

●設定日が経過すると、自動的に運転を開始します。
例えば、設定日から 3 日間、湯を使用しない場合、再開 3 日後と設定します。
●手動で戻す場合 / 運転再開する場合、運転モード設定により、再度運転モードを設定してください。前回の設定モードが表示されます（→ 16 ページ）

お願い

●2 週間以上の休止期間の場合は、下記の「長期間、湯を使用しないとき」の操作を行ってください。

長期間、湯を使用しないとき

● 2 週間以上使用されないときは、電源を切り、貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニットの水を抜きます。取扱店（工事店）に作業を依頼してください。
● 電源を「OFF」にする際は、休止モード設定後、10 秒以上経ってから操作してください。

⚠注意

禁止

●排水をするときは、湯に手を近づけない
やけどをするおそれがあります。
●貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない
やけどをするおそれがあります。

必ず守る

●排水はタンク内の温度が十分下がってから行う
やけどをするおそれがあります。
● 2 週間以上使用しないときは、電源を「OFF」にして貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をする
排水しないと水質が変化し、人体の健康に影響を及ぼすおそれがあります。また冬期は凍結して機器が破損するおそれがあります。
●周囲温度が 0℃以下のときは、電源を「OFF」にしたり、排水をしたりしない
凍結により機器が破損し、水漏れの原因となります。
●計画停電中に、周囲温度が 0℃以下になるおそれがある場合は停電前に電源を「OFF」にして貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をする
凍結により機器が破損し、水漏れの原因となります。

1. 休止モードにします

●運転モードを休止モードに設定します。(→ 16 ページ)
休止モードに設定後、10 秒以上待ちます。

2. 電源を「OFF」にします

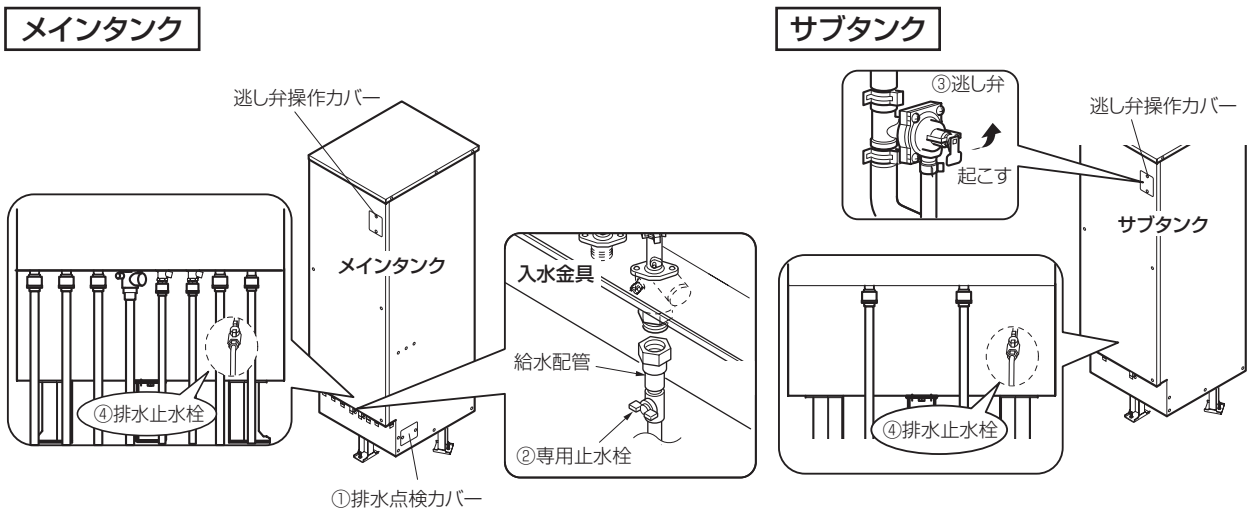
●分電盤内の貯湯タンクユニットと、ヒートポンプユニットの電源を OFF にします。

お願い

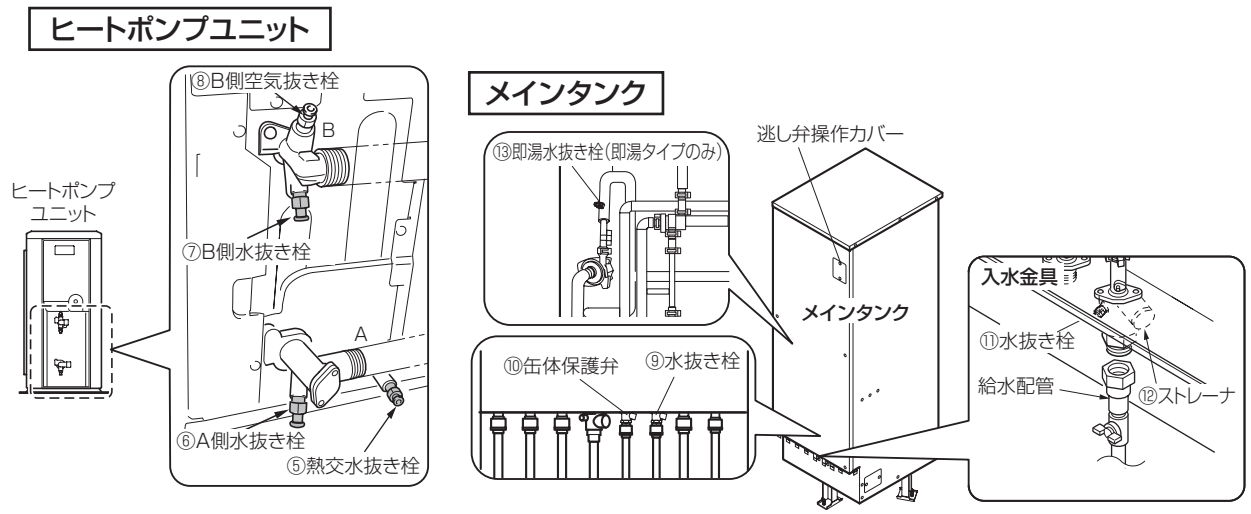
●電源を「OFF」にする際は、ヒートポンプユニットを確実に停止させるため休止モード設定後、10 秒以上経ってから操作してください。

3. 排水をします

1. すべての貯湯タンクユニットの前扉を外す。
2. メインタンクの側面にある①排水点検カバーを開ける。（サブタンクに点検窓はありません）。
3. 給水配管の②専用止水栓を閉める。
4. すべての貯湯タンクユニットの③逃し弁のレバーを起こす。
5. すべての貯湯タンクユニットの下部にある④排水止水栓を開ける。



6. 排水止水栓からの排水が終わったら、ヒートポンプユニットの⑤熱交水抜き栓を開ける。（開放のまま）
7. ヒートポンプユニットの⑥ A 側 および⑦ B 側 の水抜き栓（2か所）を開ける。（開放のまま）
8. ヒートポンプユニットの⑧ B 側 の空気抜き栓を開け、下側の⑦水抜き栓からの排水を確認する。
9. メインタンクの⑨水抜き栓、⑩缶体保護弁を開ける。
10. メインタンクの入水金具の⑪水抜き栓・⑫ストレーナーを開ける。
11. メインタンクの⑬即湯水抜き栓を開ける。(即湯タイプのみ)
12. 配管の途中に水抜き栓が設けられている場合はすべて開ける。
13. 排水が終了したら、③逃し弁のレバーをたおし、④排水止水栓・⑤⑥⑦⑨⑪⑬水抜き栓・⑧空気抜き栓・⑩缶体保護弁・⑫ストレーナーを元通りに閉める。
14. すべての貯湯タンクユニットの前扉を元通りに閉める。



使用再開（長期間休止後使用する時）

- 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットに水を入れ、配管中のエア抜きをします。
- 取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

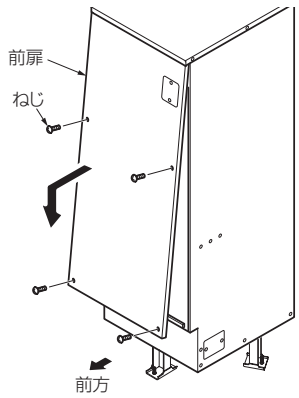
⚠注意

●**周囲温度が 0℃以下のときは、水を入れない。**
給水中やエアー抜き中に、凍結により機器が破損し、水漏れの原因となります。

1 準備をします

1-①. 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの電源が「OFF」になっていることを確認します。

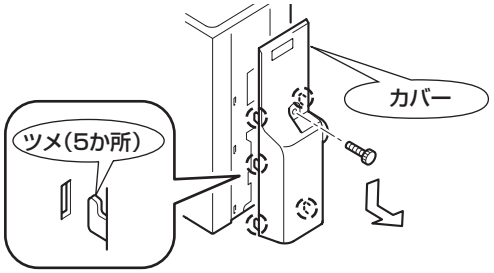
1-②. 貯湯タンクユニットの前扉を外します。



1-③. ヒートポンプユニットのカバーを止めているねじを取り外します。

1-④. カバーを下方へスライドさせ、ツメを外し、カバーを取り外します。

●必要以上にスライドさせると、ツメ部が破損するおそれがあるので注意してください。



2 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの清掃をします

2-①. 逃し弁のレバーを起こし（弁を開放し）、専用止水栓（給水配管）を開きます。

●貯湯タンクユニットに水が入ります。
サブタンクがある場合は全てのタンクの逃し弁を開けてください。

2-②. 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを戻します。

●ドレンホースから水が出てきたら満水です。

●満水までの目安はタンク 1 台当り：約 30 分です（給水圧力などにより変動します）。

2-③. 排水をして、汚れた水を全て排水します。（排水方法は、41 ページ参照）

3 入水金具のストレーナーを清掃します

3-①. 入水金具のストレーナーを外し、ごみづまりを点検し、その後ストレーナーを元に戻します。

●ごみがつまっている時はブラシなどを使い水でよく洗い流します。

●水が出てくる可能性がありますのでご注意ください。

4 貯湯タンクユニットに水を入れます

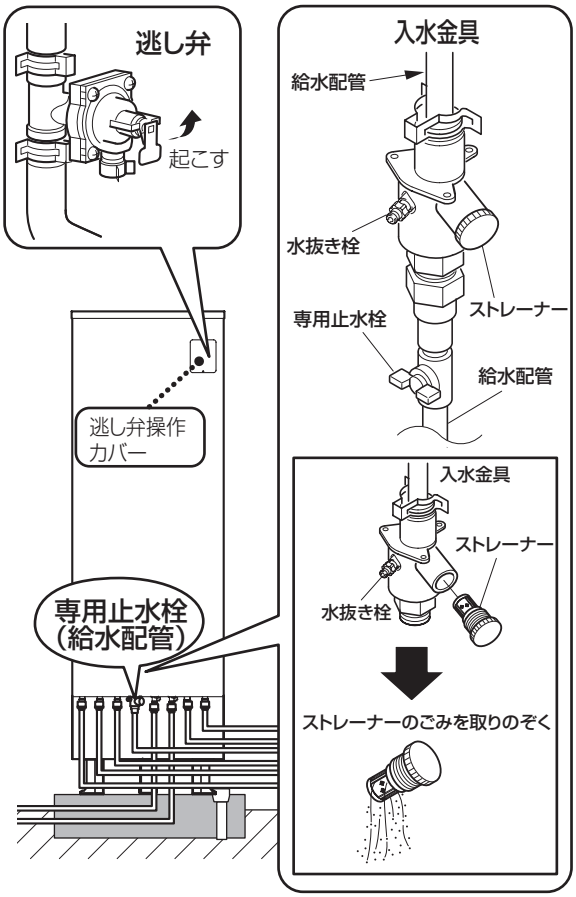
4-①. 逃し弁のレバーを起こし（弁を開放し）、専用止水栓（給水配管）を開きます。

●貯湯タンクユニットに水が入ります。サブタンクがある場合は全てのタンクの　逃し弁を開けてください。

4-②. 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを戻します。

●ドレンホースから水が出てきたら満水です。

●満水までの目安はタンク 1 台当り：約 30 分です（給水圧力などにより変動します）。



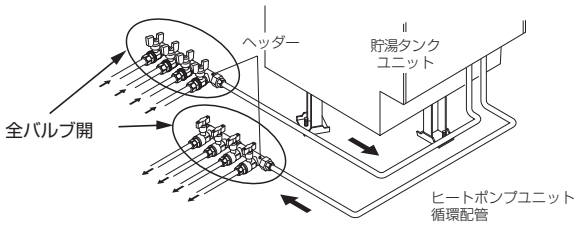
このようなときは

5 ヒートポンプユニットのエアー抜きをします

ご注意

●エアー抜きはヒートポンプユニット１台ずつ実施する。

5-①. 全てのバルブを開ける。

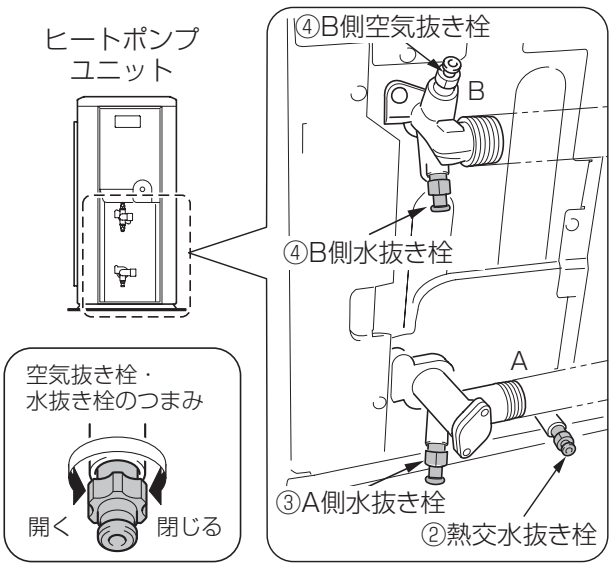


5-②. 熱交水抜き栓を外れない程度に開く。水を勢いよく出してホースやバケツなどで受ける。２分以上（約６リットル）放置する。
（エアー抜き時間は目安です。エアー抜きは空気が出なくなるまで実施してください。）
熱交水抜き栓を閉じる。

5-③. A 側水抜き栓も手順②と同様にエアー抜きをする。

5-④. B 側空気抜き栓も手順②と同様にエアー抜きをする。

＊手順 5-②③④をヒートポンプユニット 1 台ずつ実施する



6 ヒートポンプユニットのストレーナーの清掃をします

6-①. ヒートポンプユニット循環配管のすべての逆止弁付止水栓、耐熱ボールバルブを閉じます。

6-②. ヒートポンプユニットの A 側水抜き栓を開きます。その後、水が出なくなれば閉じます。

6-③. ヒートポンプユニットの循環接続口 A 側のストレーナーを外し、ごみつまりを点検し、その後ストレーナーを元に戻します。

●ごみがつまっている時はブラシなどを使い水でよく洗い流します。

6-④. すべてのヒートポンプユニットについて 6-② から 6-③ の作業を行います。

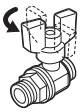
6-⑤. ヒートポンプユニット循環配管のすべての逆止弁付止水栓、耐熱ボールバルブを開きます。

6-⑥. 5-②から 5-④のヒートポンプユニットのエアー抜き作業をヒートポンプユニット 1 台ずつ再度実施する。

⚠注意

●ヒートポンプユニット循環経路のバルブを全て開ける

バルブを閉じた状態で沸き上げを行うと機器が破損したり配管が破裂し、水漏れのおそれがあります。



→次ページへ

7 高温給湯配管と即湯循環配管のエアー抜き操作を行います（即湯タイプのみ）

7-① .高温給湯配管の出湯口から水を出す。エアーが抜けたことを確認して、水を止める。

7-② .即湯循環配管の即湯水抜き栓（→ 41 ページ図参照）を開きます。即湯水抜き栓より出る水をホースやバケツなどで受けてください。十分にエアーが抜けるまで行ってください。

7-③ .空気の混じった水が出なくなったことを確認し、即湯水抜き栓を閉じます。

⚠警告

必ず守る	**●即湯水抜き栓から吹き出す水はホースやバケツなどで受ける** 水が即湯ポンプにかかると感電や故障の原因になります。

⚠注意

必ず守る	**●十分なエアー抜きを行なう** エアー抜きが不十分な場合、運転時に異常が発生するおそれがあります。

8 リモコンでエアー抜き操作を行います

8-① .分電盤内の貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの電源を入れます。

8-② .ヒートポンプ配管エアー抜き運転を実施します。（→ 33 ページ）

8-③ .即湯管エアー抜き運転を実施します。（→ 34 ページ）

9 貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニットを元に戻します

9-① .貯湯タンクユニットの前扉を取り付けます。

9-② .ヒートポンプユニットのカバーを取り付け、ねじで固定します。

10 動作を確認します

10-① . 運転モードを「おまかせモード」に設定します。（→ 16 ページ）

※「おまかせモード」が表示されない場合は「蓄熱調整モード」に設定してください。

10-② . 下記の項目を確認します。

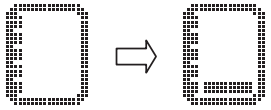
●リモコンが通常画面になり、作業中ランプが点滅、点灯していますか？

●約 30 分後（ヒートポンプユニット 2 台の場合）、タンクの残湯量表示が、下図のように変わりましたか？

●高温給湯、混合給湯栓から、湯が出ますか？

ご注意

●異常がある場合は「故障かなと思ったら」（54 ページ）をご確認ください。



⚠注意

禁止	**●直接、湯を触らない** やけどをするおそれがあります。

冬期の凍結予防について

- 暖かい地域でも冬期は、給水・給湯配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
- 取扱店（工事店）へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

ヒートポンプユニット配管の凍結予防

● 凍結しそうな気温になると、ヒートポンプユニットを自動的に運転してヒートポンプユニット循環配管の凍結を予防しますので電源を「OFF」しないでください。

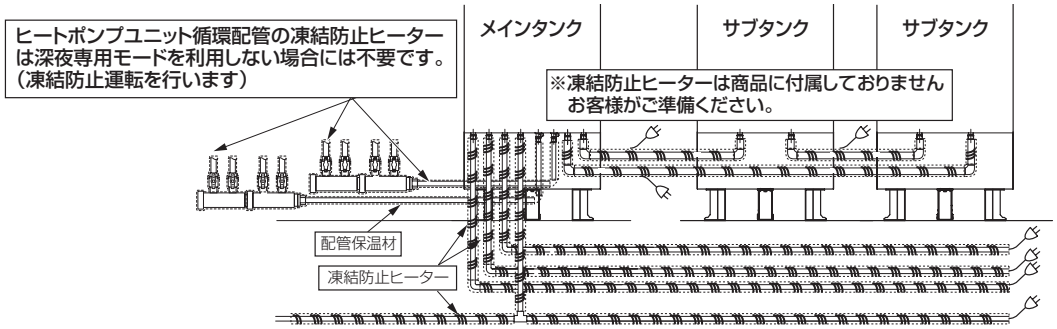
⚠注意

禁止

●電源を「OFF」にしない
冬期は凍結して機器が破損することがあります。
電源を「OFF」にする場合は、次のことを行ってください。
①休止モードにしてください。（→ 16 ページ）
②貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。（→ 41 ページ）

凍結防止ヒーター（その他配管の凍結予防）

● 凍結防止ヒーターを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込みます。
● 凍結防止ヒーターを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。



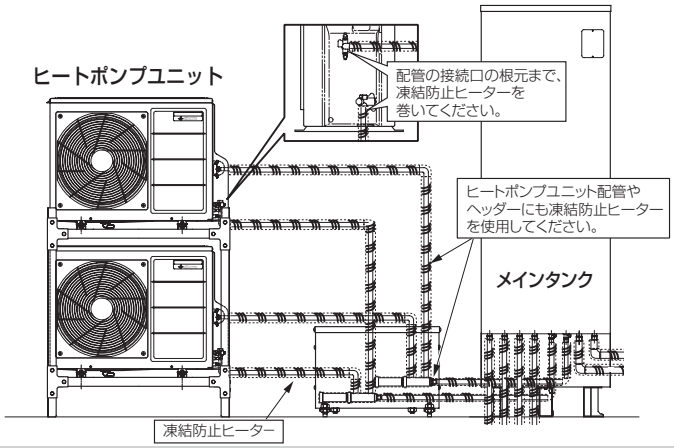
凍結防止ヒーター（深夜専用モード時）

⚠注意

禁止

●電力契約によって電源が切れている時間に、周囲温度が 0℃以下になるおそれがある地域では、深夜専用モードを使用しない
配管やヒートポンプユニット内の水が凍結し、破損の原因となります。

● ヒートポンプユニットの電源に深夜電力契約を使用する場合、ヒートポンプユニット配管やヘッダーにも凍結防止ヒーターを使用してください。ヒートポンプユニットの電源が切れている昼間時間に、配管やヒートポンプユニット内の水が凍結し、破損の原因となります。



⚠注意

必ず守る

●配管の凍結防止対策を確認する
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

お願い

●配管が凍結した場合は、専用止水栓（給水用）を閉じて、取扱店（工事店）へご連絡ください。

停電したときや断水・水道工事が行われるとき

O 取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

停電や計画停電があるとき

● 周囲温度が 0℃以下のとき、停電により配管が凍結するおそれがありますので、貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。停電復帰後は水漏れがないことを確認し、異常のないことを確認してから運転を再開してください。

ご注意

●停電すると、当日の運転情報 (使用湯量) などは保存されません。

断水や近くで水道工事が行われるとき

● 工事が行われる前に専用止水栓（給水配管）を閉じてください。
● 工事が終了したら、水道用水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、専用止水栓（給水配管）を開いて使用を再開してください。

⚠注意

必ず守る	**●水道工事後は水道用水栓を開いて、水の汚れがなくなるまで確認する** 濁った水が貯湯タンクユニット内のストレーナを目づまりさせ、湯量が減少したり、湯が濁る原因となります。

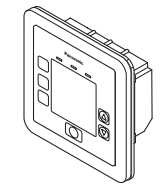
ご注意

●断水している時は湯を使用しないでください。湯を使用されるとエラーコードを表示する場合があります。

お手入れと日常点検

○点検の結果、異常があった場合は、取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

リモコンのお手入れ（日常）



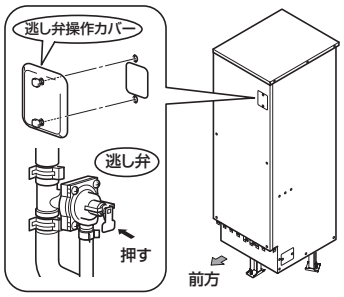
1. 画面にエラーもしくはアラーム表示が出ていないか確認してください。ブザーがなっている時は 実行 ボタンを押してブザーを止め、取扱店（工事店）に連絡するなど適切な処置を行ってください。
2. リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
3. 半年に 1 度程度、時刻合わせを行ってください。

お願い

●リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。

●洗剤およびベンジン・シンナーなどは使用しないでください。

逃し弁の点検（月に 1 回）



1. 運転モードを休止モードに設定してください。(→ 16 ページ)
2. 逃し弁操作カバーを開けてください。
3. 逃し弁のレバーを 2 ～ 3 回押してください。

ワンポイント

●逃し弁のレバーを押した時にドレンホースから排水されていれば正常です。

●カバー・ねじは紛失しないよう注意してください。

●メインタンク・サブタンク共に点検してください。

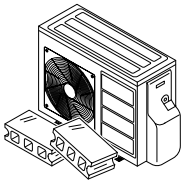
⚠注意

必ず守る

●排水時は湯に触れない

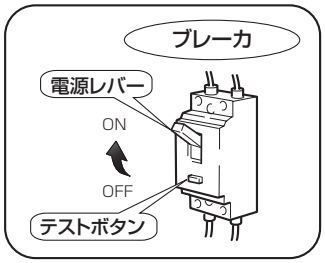
●貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータに手で触れない
やけどをするおそれがあります。

ヒートポンプユニット周辺の点検（月に 1 回）



1. 空気吸込口や空気吐出口周辺に通風の妨げになるものがないか、確認してください。
2. ヒートポンプユニット停止中（ファンが回転していない時）にドレンホースから排水されていないか確認してください。
3. ファンに異物の混入（木の枝など）がないか確認してください。
4. ヒートポンプ据付台の取付状態を確認してください。

ブレーカの動作点検（月に 1 回）



1. 運転モードを休止モードに設定してください。(→ 16 ページ)
2. 分電盤内の貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニット用ブレーカのテストボタンを押してください。

ワンポイント

●電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。

●点検終了後は、電源レバーを「ON」に戻し、運転モードを再設定してください。(→ 16 ページ)

⚠警告

必ず守る

●ブレーカの動作を確認する
故障のまま使用すると、感電するおそれがあります。

点検リスト

O 点検時はこの点検リストをコピーして、チェックリストとしてご利用ください。

お手入れと日常点検

● 点検の結果、異常があった場合は取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

部　位	点検個所	点検内容	異常の原因	処置･対策	参照項目	日常	一か月に1回	判定
リモコン								
本体	画面表示	エラー表示が出ていないか	—	取扱店(工事店)へ連絡	P.54「エラー･アラーム表示がある場合」の項	○	—	
	表面	汚れ､水濡れがないか	—	汚れは水にぬらした柔らかい布で拭き取る 水濡れは柔らかい乾いた布で拭く	P.47「リモコンのお手入れ(日常)」の項	○	—	
貯湯タンクユニット								
逃し弁	逃し弁レバー	レバーを押した時に湯(水)がでるか	逃し弁の故障､または減圧弁の故障	取扱店(工事店)へ連絡	P.47「逃し弁の点検(月に1回)」の項	—	○	
	ドレン排水状況	ヒートポンプユニットが運転していない時に排水していないか			—	—	○	
ヒートポンプユニット								
空気吸込口 空気吹出口	前後周囲	遮へい物がないか	—	蒸発器のフィンに触れないように注意し､遮へい物を取り除く	—	—	○	
		異物かみ込みがないか	—	リモコンで「休止モード」に設定しヒートポンプユニットの運転を止め､異物を取り除く	P.47「ヒートポンプユニット周辺の点検(月に1回)」の項	—	○	
ドレン排水	排水口	ヒートポンプユニットが運転していない時に排水していないか	ヒートポンプユニット内部での漏水	取扱店(工事店)へ連絡		—	○	
その他共通								
分電盤	ブレーカ	テストボタンを押して作動するか	ブレーカの故障	取扱店(工事店)へ連絡	P.47「ブレーカの動作点検(月に1回)」の項	—	○	
配管全般	設置周囲	水漏れまたは水漏れ跡がないか	配管部材もしくは配管接続部からの漏水		—	—	○	

点検日:

定期点検

- 本商品を長くお使いいただくために、定期点検を行ってください。
- 取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

定期点検について

●定期点検や部品交換については、取扱店（工事店）または当社へご相談ください。
●定期点検の詳細内容は、定期点検リスト（→ 52 ～ 53 ページ）に従い、実施してください。
●下記のメンテナンススケジュールに記載している部品は、定期的に交換が必要な消耗部品です。
●下記のメンテナンススケジュールに記載している交換目安は、交換を推奨する時期です。保証期間を示すものではありません。使用環境によって、さらに短い期間で消耗、劣化する場合もありますので、点検リストに従い、定期点検を行ってください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。
劣化する前に交換することをお勧めします。
●業務用エコキュートの設計耐用年数は約６年です。
（一日あたりのヒートポンプユニット稼動時間が 15 時間の場合。）
使用後６年程度経過すると劣化が進みますので、交換をご検討ください。

⚠注意

●周囲温度が 0℃以下にのときは、定期点検しない
電源を OFF にすると凍結して機器が、破損するおそれがあります。

メンテナンススケジュール

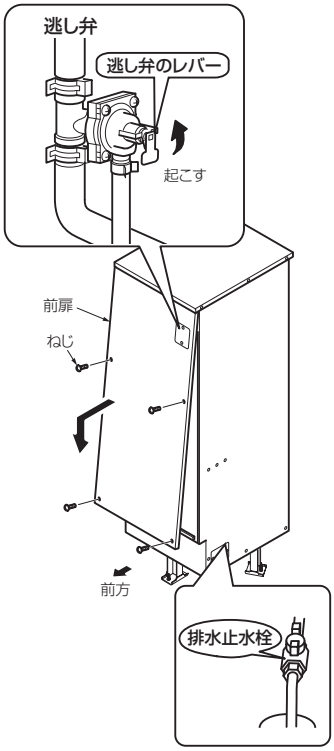
●周囲環境や沸上温度など使用条件により異なりますが、 ヒートポンプユニットは 2000 L/ 日 (45 ℃換算、ヒートポンプユニット 1 台あたり）の使用で約 6 年が交換時期です。
＊上記時間は目安であり、製品としての性能を保証するものではありません。

メンテナンススケジュール			1年	2年	3年	4年	5年	6年・・
対象	部品名（消耗部品）	交換目安						
貯湯タンクユニット (約6年点検)	減圧弁、逃し弁、水量センサ	約3年			●			製品点検
	混合弁	約2年		●		●		
ヒートポンプユニット (約6年点検)	給水ポンプ、ファンモータ	約3年			●			
◇定期点検　（1回／年） ※定期点検の内容は、52～53ページをご参照ください。			◇1年ごとに点検実施					
◇定期点検　（2～3回／年） ※定期点検の内容は、52～53ページをご参照ください。			◇1年に2～3回点検実施					

●：交換の目安時期を示しています。点検の結果、交換が必要な場合は、消耗部品の交換を実施してください。

メインタンク・サブタンク内の清掃（年に２～３回）

● 使用しているうちに水あかや沈殿物がタンクの底にたまります。きれいな湯を使用いただくために、必ず定期的に排水止水栓から水あかなどを排出してください。



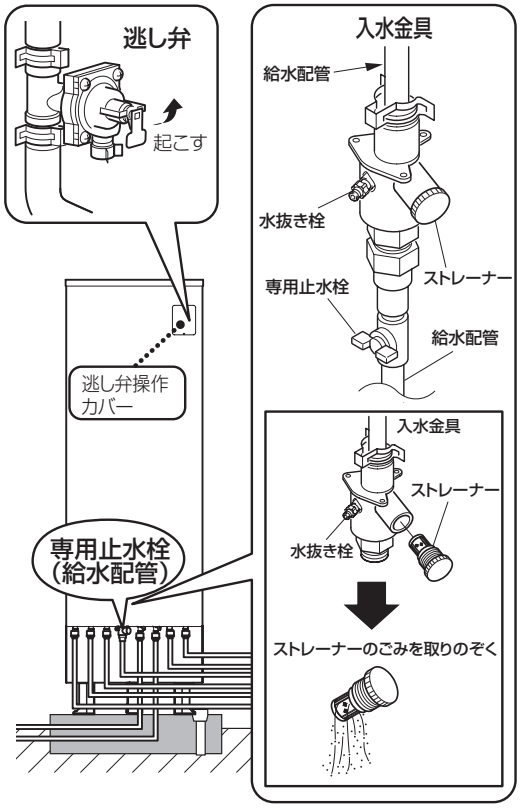
1. 運転モードを休止モードに設定してください。
   (→ 16 ページ)
2. 分電盤内の貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの電源を OFF してください。
3. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。
4. 前扉点検口を開け、貯湯タンクユニット下部にある排水止水栓を開きます。
5. 逃し弁のレバーを起こし、貯湯タンクユニット内の水を排水します。
6. 1～2 分間排水し､汚れがなくなったら排水止水栓を閉じます。
7. 専用止水栓（給水配管）を開きます。
8. 排水口に湯（水）が出てきたら、逃し弁のレバーを戻します。
9. 点検終了後は、前扉点検口を閉め電源を投入し運転モードを再設定してください。

⚠注意

必ず守る	**●排水時は湯に触れない** **●貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータに手で触れない** やけどをするおそれがあります。

ストレーナーの清掃（年に 2 ～ 3 回）

メインタンク



1. 運転モードを休止モードに設定してください。（→ 16 ページ）
2. 貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニット用の電源を OFF してください。
3. 前扉を開けます。
4. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。
5. ドレンホースから水が出なくなるまで逃し弁のレバーを押して水を抜き、タンク内の圧力を逃します。
6. 入水金具のストレーナーを外し、ごみづまりを点検し、その後ストレーナーを元に戻します。
   ●ごみがつまっている時はブラシなどを使い水でよく洗い流します。
7. 専用止水栓（給水配管）を開きます。

ご注意

●止水栓を閉じ、逃し弁を押して水を抜かないと水が噴き出します。

●ストレーナーを外す際は多少水が出てきますので、バケツなどで受けてください。

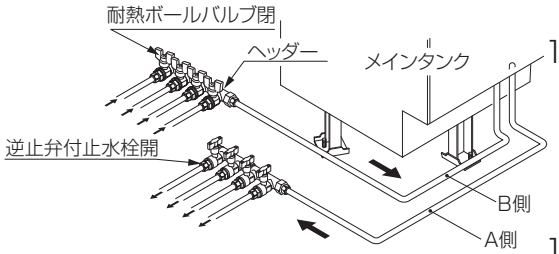
8. ヒートポンプユニットの循環配管のすべてのバルブ（A側、B側）を閉じます。
9. ヒートポンプユニット内の圧力を逃します。A側水抜き栓を開き、その後水が出なくなれば閉じてください。
10. ヒートポンプユニット循環接続口 A 側のストレーナーを外し、ごみづまりを点検し、その後ストレーナーを元に戻してください。
    ●ごみがつまっている時はブラシなどを使い水でよく洗い流します。
11. すべてのヒートポンプユニットについて 9 ～ 10 の作業を行ってください。
12. すべてのバルブを開きます。

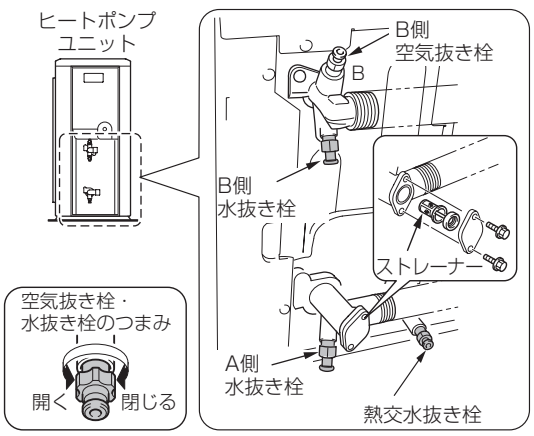
⚠注意

●ヒートポンプユニット循環経路のバルブを全て開ける
バルブを閉じた状態で沸上げを行うと機器が破損したり配管が破裂し、水漏れのおそれがあります。

13. 貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニット用の電源を ON してください。
14. リモコンでヒートポンプ配管エアー抜きを行います。（→ 33 ページ）
15. 運転モードを再設定してください。（→ 16 ページ）

ヒートポンプユニット





⚠注意

必ず守る

●直接、湯に触れない
やけどをするおそれがあります。

お願い

●点検終了後は、リモコンでヒートポンプのエアー抜き運転を行ってください。（→ 33 ページ）

定期点検リスト

O 点検時はこの点検リストをコピーして、チェックリストとしてご利用ください。

定期点検

メインタンク	サブタンク	部　位	点検個所	点検内容	異常の原因	処置・対策	参照項目	一年に2~3回	一年に1回	判定
		貯湯タンクユニット								
○	○	前扉	ねじ類	ゆるみがないか	貯湯タンクユニットが著しく振動している	増し締めをする（締付適正トルク：1.2N·m）	−	−	○	
						振動原因対策を行う	—			
○	○	逃し弁およびドレンホース	ドレンホースクランプ部	ホースの痩せ、クランプ外れがないか	高温による劣化	クランプ部の位置をずらす	—	−	○	
			ドレン排水状況	ヒートポンプユニットが運転していない時に排水していないか	逃し弁の故障、または減圧弁の故障	逃し弁または減圧弁の交換	施工説明書「3.配管工事 排水配管の方法」の項	−	○	
				ドレンホースに詰まりがないか	泥やごみの詰まり	ドレンホースの清掃	—	○	−	
			逃し弁レバー	レバーを押した時に湯（水）がでるか	逃し弁の故障	逃し弁の交換	P.47「逃し弁の点検（月に1回）」の項	○	○	
			排水口	ドレンホースが排水口に導かれているか	−	排水口に導く	施工説明書「3.配管工事 排水配管の方法」の項	−	○	
○	−	入水金具	ストレーナー	水あかや異物が詰まっていないか	水道配管内の水あかなどの異物詰まり	ストレーナーの清掃	P.51「ストレーナーの清掃（年に2~3回）」の項	○	○	
○	○	貯湯タンクユニット内部	底面	水漏れまたは水漏れ跡がないか	貯湯タンクユニット内部での漏水	内部を確認し原因部品の交換	—	−	○	
○	○	タンク缶体	排水止水栓	排水止水栓からの排水に水あかなどの異物や濁りがないか	タンク缶体底部に水あかなどの沈殿	タンク缶体底部の水（湯）を排出	P.50「貯湯タンク内の清掃（年に2~3回）」の項	○	○	
○	−	貯湯ECU基板	電源端子台	変形はないか	接続のゆるみ（接触不良）、あるいは電線の断線による温度上昇	原因を特定するゆるみの場合は接続し直す	施工説明書「4-3.貯湯タンクユニットへの配線工事」の項	−	○	
○	○	配線	被覆	変形、変色はないか	接続不良による温度上昇	貯湯ECU基板のコネクタや中継コネクタの接続状況を確認し、接続不良であれば該当部位を含む配線を交換	—	−	○	
					貯湯ECU基板不良	貯湯ECU基板の交換		−	○	
			コネクタ部	被水および被水痕がないか	貯湯タンクユニット内部配管類からの漏水	被水原因の特定と補修をし、被水部品を交換		−	○	
○	−	混合弁	給湯先	混合給湯設定温度の湯がでているか	混合弁の故障	混合弁の交換	—	−	○	

部　位	点検個所	点検内容	異常の原因	処置・対策	参照項目	一年に2~3回	一年に1回	判定
リモコン								
本体	時刻	時刻がずれていないか	—	時刻合わせ実施	P.14「1.時刻合わせ」の項	○	–	
ヒートポンプユニット								
空気吸込口 空気吹出口	前後周囲	遮へい物がないか	—	蒸発器のフィンに触れないように注意し、遮へい物を取り除く	P.47「ヒートポンプユニット周辺の点検(月に1回)」の項	–	○	
		異物かみ込みがないか	—	リモコンで「休止モード」に設定しヒートポンプユニットの運転を止め、異物を取り除く		–	○	
内部駆動部品	循環ポンプ	異音がしないか、摺動音がしないか	磨耗劣化	原因部品の交換	—	–	○	
	ファンモータ					–	○	
	コンプレッサ					–	○	
ドレン排水	排水口	ヒートポンプユニットが運転していない時に排水していないか	内部での水漏れ	原因部品の交換		–	○	
		ドレンホースや排水管が排水口に導かれているか	—	排水口に導く	施工説明書「2－3 .ヒートポンプユニットの据え付け」の項	–	○	
	ドレン排水状況	ドレンホースに詰まりがないか	泥やごみの詰まり	ドレンホース内の清掃	—	○	–	
架台								
	組み立て部	がたつきや傾きはないか	部材締結部品のゆるみ、外れ	説明書に従い補修	付属説明書	–	○	
その他共通事項								
外観	外装ケース	キズ、錆がないか	—	補修塗料でタッチアップ	—	–	○	
分電盤	ブレーカ	テストボタンを押して作動するか	ブレーカの故障	ブレーカの交換	P.47「ブレーカの動作点検(月に1回)」の項	–	○	
絶縁抵抗	貯湯タンクユニット	100MΩ以上の絶縁抵抗があるか	絶縁劣化	原因部品の交換	—	–	○	
	ヒートポンプユニット					–	○	
配管全般	固定周囲、地面	水漏れもしくは水漏れ跡がないか	配管経路からの漏水	漏水部分の特定と補修		–	○	
	ラッキング部	破損がないか	—	破損部の補修		–	○	
		配管サポートが外れていないか	—	配管サポートの再固定		–	○	
電動三方ボールバルブ※	リモコン	エコキュートと他機器から給湯ができているか	電動三方ボールバルブの故障	電動三方ボールバルブの交換	P.31「ハイブリッド選択」の項 P.37「ナビ確認モード」の給湯量の項	○	–	

※ハイブリッドタイプのみ

責任者	担当者

点検日:

施設名:

工事店名:

ご確認サイン:

故障かなと思ったら

こんな時は故障ではありません

● ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す。
気温が低いときは、熱交換器の除霜のため、運転／停止を繰り返します。
気温が低いときは、ヒートポンプ配管および、ヒートポンプ内配管の凍結防止のため、運転／停止を繰り返します。

● 運転時刻以前に、ヒートポンプユニットが運転している。
運転開始時刻に貯湯タンクを満タンにするため、ヒートポンプユニットが運転します。

● 貯湯タンクが満タンの時、ヒートポンプユニットが運転している。
中温水の再沸き上げを行っています。

● 排水口から湯が出ている。
沸き上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

● 沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる。
冬期運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。

● リモコン画面上段に「除霜運転中」が点灯する。
冬期運転中は、ヒートポンプの除霜運転を行います。
その際一時的に貯湯温度が低下することがあります。

● リモコン画面上段に「凍結防止運転中」が点灯する。
冬期運転中は、凍結防止のための運転を行います。
その際一時的に貯湯温度が低下することがあります。

● 沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの下部から水が出る。
ヒートポンプが大気から熱を吸収するときに、結露した水がでます。

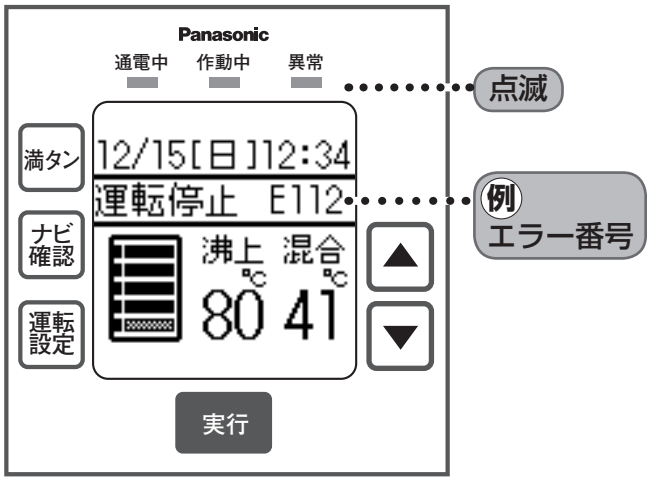
● リモコンの画面上段に「残り湯少」が点灯し、警告音が鳴る。
貯湯量が約 75 リットルを下回った時「残り湯少」がリモコンに表示され、ブザーでお知らせします。(→ 11 ページ) この時は、湯のご利用を控えてください。
ガス給湯器などと併用している場合で、手動で給湯器を切り替える際は、いったん、湯の利用を中止し、三方ボールバルブなどを切り替えてから、湯の利用を再開してください(→ 2 ページ)
ハイブリッドタイプで、ハイブリッドの切替モードを自動切替に設定されている場合には、自動で他機器からの給湯に切り替わります。固定モードに設定されている場合には、リモコンで切替を行ってください。(→ 31 ページ)

エラー・アラーム表示がある場合

● 機器に異常が発生したとき、リモコンに次のように表示し、警告音（ピーピー）が鳴って異常をお知らせします。

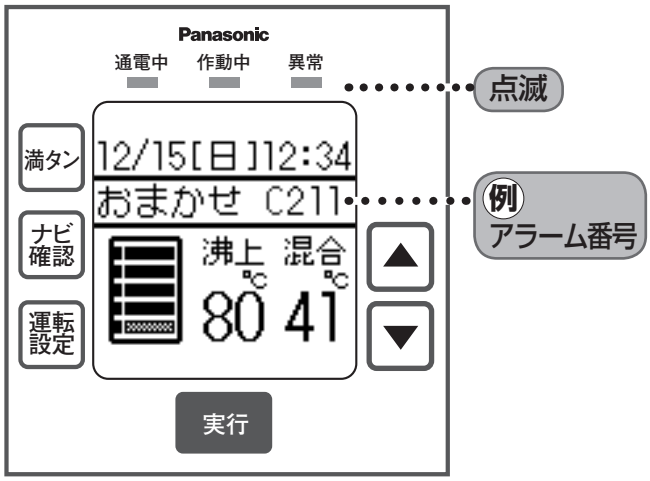
エラーの場合

沸上運転を停止しています。リモコン画面のエラー番号を取扱店（工事店）に連絡の上、点検・修理をご依頼ください。



アラームの場合

ヒートポンプユニットは、運転しており沸き上げは可能です。ただし、出力低下している事があります。また、しばらくするとエラーで停止することがあります。リモコン画面のアラーム・エラー番号を取扱店(工事店) に連絡の上、点検・修理をご依頼ください。



※警告音を消す場合はいずれかのボタンを押してください、ボタン操作が無い場合、警告音は消えません。
＊アラーム・エラー番号は過去エラー表示（→ 39 ページ）で確認できます。

エラー・アラーム表示がない場合

● 次の項目にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は取扱店（工事店）までご連絡ください。

症　状	原　　因	処　　置
リモコンの“通電中”ランプが点灯しない（電源が入らない）	·ブレーカの電源レバーが「OFF」になっている	電源を「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、そのまま取扱店（工事店）に点検·修理をご依頼ください。
	·停電している	停電復帰後、動作を確認してください。
リモコンの表示が消えている	·表示が消灯モードになっている	どれかスイッチを押すと表示が点灯します。
リモコンの表示が暗い	·リモコンの表示明るさ設定が「暗い」になっている	リモコンの表示明るさ設定を「明るい」あるいは「ふつう」にしてください。（→19ページ）
リモコンの操作音が出ない	·リモコン操作音の設定が「OFF」になっている	リモコン操作音設定を「ON」にしてください。（→18ページ）
湯が出ない 湯の出が悪い	·給水止水栓が閉じている	給水止水栓を開いてください。
	·断水している/給水圧が低い	水道局へお問い合わせください。
	·入水金具のストレーナーにごみがつまっている	取扱店（工事店）に点検·修理をご依頼ください。
	·配管が凍結している	解凍後に水漏れや配管の破裂がある場合は、取扱店（工事店）に点検·修理をご依頼ください。
	·ガス給湯機を併用している場合、三方ボールバルブの切り替えが確実にできていない	三方ボールバルブを確実に切り替えてください。（→2ページ）
	·ガス給湯機を併用している場合、ガス給湯器からの給湯により貯湯タンクユニットからの給湯が妨げられている	三方ボールバルブを取り付けていない場合は、取扱店（工事店）に点検·修理をご依頼ください。
湯がぬるい 湯が足りない	·リモコンに「再開○日後」が表示されている	運転モードを設定してください。（→16ページ）
	·沸上温度設定が低い	運転設定の沸き上げ温度設定で、温度を高めに設定してください。（→20ページ）
	·沸上運転時以外でも、排水口から湯（水）がでている	逃し弁の点検をしてください。（→47ページ） 止まらない場合は、取扱店（工事店）に点検·修理をご依頼ください。
	·いつもに比べて湯を大量に使用した	満タンモードや強制沸上モードでご使用ください。（→37ページ）
湯がぬるい 湯が足りない（ガス給湯器を併用しており、ガス給湯器側に切り替えている場合）	·ガス給湯器の電源が「OFF」になっている。	ガス給湯器の電源を「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、そのままガス給湯器の取扱店（工事店）に点検·修理をご依頼ください。
	·ガス給湯器が故障している。	ガス給湯器の取扱店（工事店）に点検·修理をご依頼ください。
	·電動式三方ボールバルブが故障している。	取扱店（工事店）に点検·修理をご依頼ください。

仕様

[システム（一般地用）]

標準タイプ組み合わせ品番	XDEC251N11	XDEC251N21	XDEC251N22	XDEC251N23	
即湯タイプ組み合わせ品番	XDEC252N11	XDEC252N21	XDEC252N22	XDEC252N23	
ハイブリッドタイプ組み合わせ品番	XDEC253N11	XDEC253N21	XDEC253N22	XDEC253N23	
ヒートポンプ台数	1 台	2 台			
定格電源					
設置場所					
最大電流	15A	30A			
使用温度範囲※ 1					
高温沸上設定温度※ 2※ 3					
最大沸上能力（中間期※ 7、90℃沸上時）	約 50 リットル / 時間	約 100 リットル / 時間			
混合給湯設定温度※ 4					
仕向地					

[メイン貯湯タンクユニット　標準タイプ / 即湯タイプ / ハイブリッドタイプ（一般地用）]

標準タイプ品番 / 即湯タイプ品番 / ハイブリッドタイプ品番	
タンク容量	
最大使用圧力※ 5	
外形寸法（mm）	
重量（標準タイプ / 即湯タイプ / ハイブリッドタイプ）	82kg
凍結防止ヒータ電力 （標準タイプ / 即湯タイプ / ハイブリッドタイプ）	
制御用電力（標準タイプ / 即湯タイプ / ハイブリッドタイプ）	

[サブ貯湯タンクユニット]

品番	-	-	DECB42S1K	
タンク容量	-	-	420 リットル	420 リットル× 2 台
最大使用圧力	-	-	190kPa（1.94kgf/cm^2）	
外形寸法（mm）	-	-	2080（高）× 651（幅）× 787（奥行）	2080（高）× 651（幅）× 787（奥行）× 2 台
重量（製品重量 / 満水時重量）	-	-	71kg/491kg	71kg/491kg × 2 台

[ヒートポンプユニット（一般地用）]

品番				
外形寸法（mm）		690（高）× 900（幅）× 300（奥行）	690（高）× 900（幅）× 300（奥行）× 2 台	
重量		約 57kg	約 57kg × 2 台	
加熱能力※ 6（夏期・中間期・冬期 / 着霜期※ 7）		4.5kW/3.6kW	9kW/7.2kW	
消費電力（夏期・中間期・冬期 / 着霜期※ 7）	65℃沸上時	0.815kW/0.885kW /1.0kW/1.2kW	1.63kW/1.77kW/2.0kW/2.4kW	
	90℃沸上時	1.225kW/12.85kW /1.365kW/1.31kW	2.45kW/2.57kW/2.73kW/2.62kW	
COP（夏期・中間期・冬期 / 着霜期※ 7）	65℃沸上時			
	90℃沸上時			
運転音（中間期 / 冬期※ 7）		38dB/43dB	41dB/46dB	
冷媒の種類				

[リモコン]

品番	
外形寸法（mm）	
重量	

※ 1　− 10 ℃以下、50 ℃以上の周囲温度では、ヒートポンプユニット内部部品保護のため、ヒートポンプユニットの運転を停止します。

※ 2　43 ℃～ 50 ℃の周囲温度では、ヒートポンプユニット内部部品保護のため、沸上温度 65 ℃に下げて運転します。

※ 3　高温給湯温度は、タンクや配管の放熱ロスにより、ヒートポンプの高温沸上温度の設定値よりも低くなります。また、長時間ご使用にならなかった場合や大量にお湯を使った場合など、お湯のご使用状況により、さらに給湯温度が低くなることがあります。

※ 4　混合給湯温度は、タンクや配管の放熱ロスにより、混合給湯温度の設定値よりも低くなります。また、長時間ご使用にならなかった場合や大量にお湯を使った場合など、お湯のご使用状況により、さらに給湯温度が低くなることがあります。

※ 5　給水圧力としては、200 kPa ～ 750 kPa(2.04 kgf/cm^2 ～ 7.65 kgf/cm^2) 必要です。

※ 6　−10 ℃～0 ℃、25 ℃～50 ℃の周囲温度では、沸上温度によって、ヒートポンプユニット内部部品保護のため、加熱能力をセーブして運転します。

XDEC251N31	XDEC251N32	XDEC251N33	XDEC251N34	XDEC251N41	XDEC251N42	XDEC251N43	XDEC251N44
XDEC252N31	XDEC252N32	XDEC252N33	XDEC252N34	XDEC252N41	XDEC252N42	XDEC252N43	XDEC252N44
XDEC253N31	XDEC253N32	XDEC253N33	XDEC253N34	XDEC253N41	XDEC253N42	XDEC253N43	XDEC253N44
3台				4台			
一般商用電源　単相　200V　50/60Hz 共用							
屋外型							
45A				60A			
-10℃～50℃							
65/70/75/80/85/90℃							
約 150 リットル / 時間				約 200 リットル / 時間			
35～50/55/60/65/70/75℃							
最低気温が -10℃以上の地域							

DECB42E51N/DECB42E52N/DECB42E53N
420 リットル
190kPa（1.94kgf/cm^2）
2080（高）×　651（幅）×　787（奥行）
・502kg/84kg・504kg/82kg・502kg（製品重量・満水時重量）
100W/150W/100W
11W/13W/11W

-	DECB42S1K			-	DECB42S1K		
-	420 リットル	420 リットル×2台	420 リットル×3台	-	420 リットル	420 リットル×2台	420 リットル×3台
-	190kPa（1.94kgf/cm^2）			-	190kPa（1.94kgf/cm^2）		
-	2080(高)×651(幅)×787(奥行)	2080(高)×651(幅)×787(奥行)×2台	2080(高)×651(幅)×787(奥行)×3台	-	2080(高)×651(幅)×787(奥行)	2080(高)×651(幅)×787(奥行)×2台	2080(高)×651(幅)×787(奥行)×3台
-	71kg/491kg	71kg/491kg×2台	71kg/491kg×3台	-	71kg/491kg	71kg/491kg×2台	71kg/491kg×3台

DECP452NK	
690（高）×900（幅）×300（奥行）×3台	690（高）×900（幅）×300（奥行）×4台
約 57kg×3台	約 57kg×4台
13.5kW/10.8kW	18kW/14.4kW
2.445kW/2.655kW/3.0kW/3.6kW	3.26kW/3.54kW/4.0kW/4.8kW
3.675kW/3.855kW/4.095kW/3.93kW	4.9kW/5.14kW/5.46kW/5.24kW
5.52/5.1/4.5/3.0	
3.68/3.5/3.3/2.75	
42.8dB/47.8dB	44dB/49dB
CO_2	

DECR005
120（高）×116（幅）×48（奥行）
220g

※7　作動条件（JRA4060：2009に準拠）

	夏期	中間期	冬期	着霜期
外気温（DB/WB℃）	25/21	16/12	7/6	2/1
給水温度（℃）	24	17	9	5

仕様

[システム（寒冷地用）]

標準タイプ組み合わせ品番	XDEC251C11	XDEC251C21	XDEC251C22	XDEC251C23	
即湯タイプ組み合わせ品番	XDEC252C11	XDEC252C21	XDEC252C22	XDEC252C23	
ハイブリッドタイプ組み合わせ品番	XDEC253C11	XDEC253C21	XDEC253C22	XDEC253C23	
ヒートポンプ台数	1台	2台			
定格電源					
設置場所					
最大電流	15A	30A			
使用温度範囲※1					
高温沸上設定温度※2※3					
最大沸上能力（中間期※7、90℃沸上時）	約50リットル/時間	約100リットル/時間			
混合給湯設定温度※4					
仕向地					

[メイン貯湯タンクユニット　標準タイプ / 即湯タイプ / ハイブリッドタイプ（寒冷地用）]

標準タイプ品番 / 即湯タイプ品番 / ハイブリッドタイプ品番	
タンク容量	
最大使用圧力※5	
外形寸法（mm）	
重量（標準タイプ / 即湯タイプ / ハイブリッドタイプ）	82kg
凍結防止ヒータ電力 （標準タイプ / 即湯タイプ / ハイブリッドタイプ）	
制御用電力（標準タイプ / 即湯タイプ / ハイブリッドタイプ）	

[サブ貯湯タンクユニット]

品番	-	-	DECB42S1K		
タンク容量	-	-	420リットル	420リットル×2台	
最大使用圧力	-	-	190kPa（1.94kgf/cm^2）		
外形寸法（mm）	-	-	2080（高）×651（幅）×787（奥行）	2080（高）×651（幅）×787（奥行）×2台	
重量（製品重量 / 満水時重量）	-	-	71kg/491kg	71kg/491kg×2台	

[ヒートポンプユニット（寒冷地用）]

品番				
外形寸法（mm）		690(高)×900(幅)×300(奥行)	690（高）×900（幅）×300（奥行）×2台	
重量		約58kg	約58kg×2台	
加熱能力※6（夏期・中間期・冬期 / 着霜期※7）		4.5kW/3.6kW	9kW/7.2kW	
消費電力（夏期・中間期・冬期 / 着霜期※7）	65℃沸上時	0.815kW/0.885kW/1.0kW/1.2kW	1.63kW/1.77kW/2.0kW/2.4kW	
	90℃沸上時	1.225kW/12.85kW/1.365kW/1.31kW	2.45kW/2.57kW/2.73kW/2.62kW	
ドレンパンヒータ電力		52W	104W	
COP（夏期・中間期・冬期 / 着霜期※7）	65℃沸上時			
	90℃沸上時			
運転音（中間期 / 冬期※7）		38dB/43dB	41dB/46dB	
冷媒の種類				

[リモコン]

品番	
外形寸法（mm）	
重量	

※1　－25 ℃以下、50 ℃以上の周囲温度では、ヒートポンプユニット内部部品保護のため、ヒートポンプユニットの運転を停止します。

※2　43 ℃～50 ℃の周囲温度では、ヒートポンプユニット内部部品保護のため、沸上温度65 ℃に下げて運転します。

※3　高温給湯温度は、タンクや配管の放熱ロスにより、ヒートポンプの高温沸上温度の設定値よりも低くなります。また、長時間ご使用にならなかった場合や大量にお湯を使った場合など、お湯のご使用状況により、さらに給湯温度が低くなることがあります。

※4　混合給湯温度は、タンクや配管の放熱ロスにより、混合給湯温度の設定値よりも低くなります。また、長時間ご使用にならなかった場合や大量にお湯を使った場合など、お湯のご使用状況により、さらに給湯温度が低くなることがあります。

※5　給水圧力としては、200 kPa～750 kPa(2.04 kgf/cm^2～7.65 kgf/cm^2)必要です。

※6　－25 ℃～－15 ℃、25 ℃～50 ℃の周囲温度では、沸上温度によって、ヒートポンプユニット内部部品保護のため、加熱能力をセーブして運転します。

XDEC251C31	XDEC251C32	XDEC251C33	XDEC251C34	XDEC251C41	XDEC251C42	XDEC251C43	XDEC251C44
XDEC252C31	XDEC252C32	XDEC252C33	XDEC252C34	XDEC252C41	XDEC252C42	XDEC252C43	XDEC252C44
XDEC253C31	XDEC253C32	XDEC253C33	XDEC253C34	XDEC253C41	XDEC253C42	XDEC253C43	XDEC253C44
3台				4台			
一般商用電源　単相　200V　50/60Hz 共用							
屋外型※8							
45A				60A			
-25℃～50℃※8							
65/70/75/80/85/90℃							
約 150 リットル / 時間				約 200 リットル / 時間			
35～50/55/60/65/70/75℃							
最低気温が -25℃以上の地域※8							

DECB42E51C/DECB42E52C/DECB42E53C
420 リットル
190kPa（1.94kgf/cm^2）
2080（高）×　651（幅）×　787（奥行）
・502kg/84kg・504kg/82kg・502kg（製品重量・満水時重量）
260W/340W/260W
11W/13W/11W

-	DECB42S1K			-	DECB42S1K		
-	420 リットル	420 リットル×2台	420 リットル×3台	-	420 リットル	420 リットル×2台	420 リットル×3台
-	190kPa（1.94kgf/cm^2）			-	190kPa（1.94kgf/cm^2）		
-	2080（高）×651（幅）×787（奥行）	2080（高）×651（幅）×787（奥行）×2台	2080（高）×651（幅）×787（奥行）×3台	-	2080（高）×651（幅）×787（奥行）	2080（高）×651（幅）×787（奥行）×2台	2080（高）×651（幅）×787（奥行）×3台
-	71kg/491kg	71kg/491kg×2台	71kg/491kg×3台	-	71kg/491kg	71kg/491kg×2台	71kg/491kg×3台

DECP452CK	
690（高）×900（幅）×300（奥行）×3台	690（高）×900（幅）×300（奥行）×4台
約 58kg×3台	約 58kg×4台
13.5kW/10.8kW	18kW/14.4kW
2.445kW/2.655kW/3.0kW/3.6kW	3.26kW/3.54kW/4.0kW/4.8kW
3.675kW/3.855kW/4.095kW/3.93kW	4.9kW/5.14kW/5.46kW/5.24kW
156W	208W
5.52/5.1/4.5/3.0	
3.68/3.5/3.3/2.75	
42.8dB/47.8dB	44dB/49dB
CO_2	

DECR005
120（高）×116（幅）×48（奥行）
220g

※7　作動条件（JRA4060：2009に準拠）

	夏期	中間期	冬期	着霜期
外気温（DB/WB℃）	25/21	16/12	7/6	2/1
給水温度（℃）	24	17	9	5

※8　最低気温が−20 ℃を下回る地域は、貯湯タンクユニットを気温−20 ℃以上の屋内に設置してください。
また、ヒートポンプユニットは、気温−25 ℃～−20 ℃の環境では、沸上温度を下げて運転する場合があります。

保証について

●保証期間中の修理については、無料修理規定（保証書に裏書きされています）にしたがって取扱店（工事店）が修理させていただきます。

●取扱店（工事店）に所定事項（「お引渡し日」、「取扱販売店名」）を記入いただき、保証書を大切に保管してください。（記入無き場合は、保証が受けられない場合もありますので、ご了承ください。）

修理を依頼されるときは

●サービスを依頼される前に、本書の「故障かなと思ったら」P.54 ～ 55 にしたがってご確認いただき、なお異常がある場合は取扱店（工事店）にご依頼ください。

●修理に関するご相談並びにご不明な点は、取扱店（工事店）またはパナソニックエコソリューションズお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニックエコソリューションズお客様ご相談窓口のご案内

O 修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの取扱店（工事店）へお申し付けください。

ご相談
修理依頼

フリーダイヤル
0120-081-240

365日 24時間修理受付をさせていただきます。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。
併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社　パワー機器ビジネスユニット
〒571-8686　大阪府門真市門真1048番地
©Panasonic Corporation 2014

2014.4
DECB42E51N-T11
DC1013-10414